

ロータリーの友

Rotary

JAPAN

www.rotary-no-tomo.jp

10

2024

October

地域社会の経済発展月間

歴史を紡ぎ、未来へ

名士の足跡と、ロータリークラブ。

米山月間

よねやまにもっと親しもう！



DNPの一面!

DNP FUTURE PRESS

半導体は
浪漫だ

DNPと
薬!?

人生を
拡張する
X R?



常識は日々アップデートされていく。ここは、多彩な技術と視点をもつ人々が出会い、混ざり、掛け合わせりながら、まだ見たことのない新しい未来を自ら描きだす場所。その名前は、DNP。ときには、分野や企業の垣根を越えて、人々の身近にあたりまえに存在する欠かせない価値を生みだし続けている。さあ、DNPがつくる次の「未来のあたりまえ」を、ひとつずつ、深掘りしていこう。

未来のあたりまえをつくる。

DNP

大日本印刷

DNPの一面



CONTENTS

10月 は 地域社会の経済発展月間／米山月間
10月7日を含む1週間は ロータリー学友参加推進週間

 R I 会長メッセージ 4	
R I 会長 ステファニー A. アーチック	

特集 地域社会の経済発展月間 7

歴史を紡ぎ、未来へ 名士の足跡と、ロータリークラブ。

米山梅吉と物語 ——— 静岡県駿東郡長泉町

渋沢栄一と郷「土」愛—— 埼玉県深谷市

福澤諭吉と「人を造る」—— 大分県中津市

コラム 『常識関門』の3人を巡る考察

特集 米山月間 17

よねやまにもっと親しもう！

米山学友会を知ろう

ロータリー米山記念奨学会資料

2025 年国際大会 22	
---------------------	--

GOING TO MOH'KINSTSIS

カルガリーへの誘い モーキンスツイス ヘ！

文 Geoffrey Johnson 写真 Monika Lozinska

ROTARY 9月号から

ELEVATE ROTARACT 37	
---------------------------	--

富良野ローターアクトクラブ

NEW GENERATION 38	
-------------------------	--

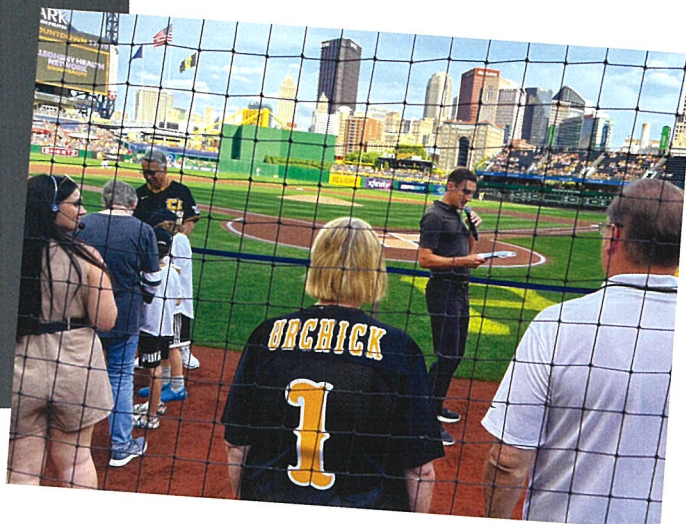
ローターアクター 川村祥恩／ローテックス 東 篤史

- 6 ● ロータリーとは
- 32 ● People of action around the globe
- 34 ● ROTARY AT WORK
- 39 ● パズル de ロータリー／詰め将棋
- 40 ● エバンストン便り
- 41 ● 財団管理委員長からのメッセージ 
- 2025 年国際大会 
- 42 ● パズルの答え／詰め将棋の答え
- 44 ● 『ロータリーの友』表紙を飾る絵 大募集！
- 46 ● お知らせ 新RC／新ロータリー衛星クラブ／新IAC／
地区別クラブ数・会員数一覧表／『友』11月号主要記事予定
- 47 ● 日本ロータリー分布図／奥付

● 本誌中のRIは国際ロータリー、RCはロータリークラブ、RACはローターアクトクラブ、IACはインターアクトクラブの略です。
● 縦組みの目次は、反対側の表紙を開いたページにあります。 ● 本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。
● 公式ロゴ、誇りのシンボル、簡易公式ロゴ、およびROTARYは、国際ロータリーが保有する商標であり、ライセンスに基づいて使用されています。



7月にピッツバーグ・パイレーツの本拠地で行われたポリオ・プラスの募金活動で、野球のユニホームを着たアーチック会長



It takes a team

With World Polio Day on 24 October, I'm proudly rooting for Rotary as we team up around the world to End Polio Now.

I had the honor of attending a Strike Out Polio event in July at PNC Park, home of the Pittsburgh Pirates MLB team. The Rotary Club of Delmont-Salem hosted the event, which raised \$1.3 million for PolioPlus.

Later in the summer, I joined members of our Rotary family in supporting the Más Millas Menos Polio (More Miles Less Polio) bike ride. Felipe Meza Chávez and his team rode all the way from Ciudad Juárez, Mexico, to One Rotary Center in Evanston, Illinois, to raise money and awareness. The ride took 12 days, and Felipe and his team collected more than \$100,000 to support the fight against polio. It was a joy to greet them as they arrived in Evanston.

And I was thrilled to see Team End Polio raise global awareness around the 2024 Paris Olympics. This world-class roster of athletes, global leaders, and polio eradication supporters came together to advocate for a world where no child has to live in fear of being paralyzed by polio. Some of the athletes on Team End Polio are polio survivors themselves, adding weight to their advocacy.

These are just a few examples of the many ways Rotary has teamed up recently to End Polio Now. It is vital that we continue to seek out and recruit teammates in polio eradication, especially after the challenges our eradication efforts have faced this year.

The Rotary world was heartbroken to learn about the tragic passing in August of Aidan O'Leary, director for polio eradication at the World Health Organization.

I knew Aidan and worked with him directly. He was a tireless advocate in the fight against polio and a kind,

genuine man. We will remember him both for his advocacy and his warmth.

But where there is hardship, there is also hope. I feel hopeful whenever I consider the countless ways Rotary supports the fight every day to eradicate polio.

As people of action, we don't have the luxury of giving in to despair, even in the face of tragedy. The best way to honor Aidan's memory is by teaming up and reaching our goal to End Polio Now.

We made a promise to the children of the world and their families. It is incumbent upon us, together with our global partners, to end this threat once and for all.

There are so many ways we can team up to eradicate polio. You can donate to the End Polio Now campaign, join or initiate a PolioPlus Society in your club or district, or take inspiration from the fundraisers I mentioned above.

I encourage Rotary members around the world to continue to seek out new teammates, so that together, we end polio.

Join the team and help make polio history at endpolio.org.

STEPHANIE A. URCHICK

President, Rotary International

PRESIDENT'S MESSAGE

RI会長メッセージ

RI 指定記事

チームの力が必要です

10月24日の世界ポリオデーに際し、私はさながらポリオ根絶という目標に向け、世界中で一丸となっているチーム・ロータリーの応援団長です。

7月、野球のメジャーリーグチーム、ピッツバーグ・パイレーツの本拠地・PNCパークで開催されたイベント「Strike Out Polio」に参加しました。デルモントセーレム・ロータリークラブが主催し、130万ドルもの寄付金を集めました。

また、ロータリーファミリーと一緒に、自転車ツアー「Más Millas Menos Polio（マイルが増えるとポリオが減る）」も応援しました。フェリペ・メザ・チャベスさんはチームを組み、ポリオ根絶への募金と認知度向上の活動として、メキシコのシウダー・フアレスからイリノイ州エバンストンの国際ロータリー世界本部まで自転車で走破。12日間走り続けたこのチームは、10万ドルを超える寄付金を集めました。ゴールのエバンストンに到着した彼らを迎えることができ、とても感激しました。

そして、パリオリンピックに合わせてチーム「エンド・ポリオ」が世界的なポリオ根絶の認知度向上に貢献する姿に胸を打たれました。このチームには、ポリオのない世界を目指し、世界的なアスリートや各界のリーダー、ポリオ根絶活動支持者が名を連ねています。自らポリオサバイバーとして活動に取り組むアスリートもいます。そのような方の声は、一層の重みがあります。

これらは、ロータリーがポリオ根絶に向けてチームとして取り組んでいるさまざまな活動のほんの一部に過ぎません。根絶に向け、引き続きチームの仲間を集めることが重要です。特に今年は活動においてある課題に直面したこともあり、例年にも増してその思いを強くしています。

世界保健機関(WHO)のポリオ根絶ディレクターであったエイダン・オリーリー氏の急逝は、ロータリー全体に大

きな悲しみをもたらしました。私とオリーリー氏は共に活動してきました。ポリオとの闘いのたゆまぬ擁護者であり、心優しく実直な人でした。彼が生涯をかけて訴え続けたことも、彼の温かな人柄も、私たちは忘れません。

しかし、つらいことがあれば、希望もあります。ロータリーが日々あまたの方法でポリオ根絶への取り組みを支援していることを考えるたびに、私は希望を感じます。世界を変える行動人として、私たちは悲劇を前にしても、絶望に打ちひしがれている時間はありません。オリーリー氏の遺志を継いで、私たちが一丸となってポリオ根絶という目標を達成することが、何よりの恩返しになるはずです。

私たちは世界の子どもたちとその家族に約束をしました。グローバルパートナーと共にこの疾病の脅威を完全に終わらせることは、今や私たちの義務です。ポリオ根絶に向け、私たちがチーム一丸となって協力する方法はたくさんあります。ポリオ根絶活動に寄付する、クラブまたは地区でポリオプラス・ソサエティに参加する、あるいはソサエティを立ち上げる、または、これらの募金活動からヒントを得ることもできます。

世界中のロータリー会員の皆さん、ぜひ新しい仲間、新会員を引き続き求めて、共にポリオ根絶に向けて取り組みましょう。

endpolio.org から、歴史をつくるためにご支援ください

ステファニー A. アーチック

2024-25年度 国際ロータリー (RI) 会長

ロータリーとは

ロータリーの誕生とその成長

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道德の欠如が目につくようになっていました。

ちょうどそのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人3人と語らって、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。

こうして1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生しました。

それからは、志を同じくするロータリークラブが、つぎつぎ各地に生まれて、国境を超え、今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数36,578、会員総数1,155,898人（2024年8月19日国際ロータリー公式発表）に達しています。このように、歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。

なお、世界中のロータリークラブとローターアクトクラブの連合体を国際ロータリーと称します。

日本のロータリー

わが国最初のロータリークラブは、1920（大正9）年10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に、世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。

日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェスリー・ペリーと、創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができません。

その後、日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われて、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年3月になって、再び復帰加盟しますが、この時、復帰に尽力してくれたのが国際ロータリーの第3代事務総長ジョージ・ミーンズでした。

その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。現在、日本全体でのクラブ数は2,195、会員数83,038人（2024年7月末現在）となっています。

2024－25 年度会長テーマ

THE MAGIC OF ROTARY



ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

歴史を紡ぎ、未来へ

名士の足跡と、 ロータリークラブ。

人の暮らしがあるところに必ず歴史があり、その地には必ず「名士」の姿がある——本特集では、各地の名士にフォーカスし、その足跡を次世代に紡ぐ活動によって「地域の経済発展」に取り組むロータリークラブを紹介。あなたの住む町にも必ずいる名士を通じて、その地の「あらがえない魅力」を発信しませんか？

『友』編集部 新見 圭太

静岡県・長泉町にかかる鮎壺の滝。約1万年前の富士山噴火後の溶岩を黄瀬川が浸食する形で形成された。滝を登れないアユが滝壺に群れていたのがその名の由来とされている

長泉

多くの伝説が残る町に刻まれていく、
ロータリークラブという物語。

I 米山梅吉と物語

利便性の高い南部市街地と 自然豊かな北西部山岳エリア

富士山から南東方向、伊豆半島の付け根に位置する静岡県駿東郡長泉町（人口約4万人）。町南東部は隣接する三島市、沼津市と一続きの商業圏が形成されている。東海道新幹線三島駅から近いことや富士山の伏流水が豊富に湧き出していることもあり、大手企業の工場が多く進出している。

自然豊かな北西部には、北で富士山と接する愛鷹山があり、10万年前に火山活動を終えたことや地形の複雑さも相まって、固有の植物が育つ。中でも、桃色の花びらが目に鮮やかなアシタカツツジ、円筒型の白い花びらが愛らしいハコネコメツツジなどはその代表といえる。

長泉町を走る黄瀬川と あまたの伝説

御殿場市を水源とし、長泉町を縦断して駿河湾に注ぐこの河川には多くの物語がある。

平安時代末期、治承・寿永の乱。源頼朝の伊豆での挙兵に、弟・義経が奥州平泉から駆け付

け対面を果たした場合は、ここ黄瀬川のほとりであったといわれている。

戦国時代には平山城である長久保城が築かれた。城は北部に愛鷹山の尾根、三方を黄瀬川とその支流に囲まれ、今川氏、後北条氏、武田氏の競い合いも伝わる。やがて落城を迎えた時、乳母やわずかな兵と共に牛車で落ち延びようとした萩姫が、折からの豪雨により黄瀬川の淵に転落、一行全てが落命したという伝説もある。この悲話にちなみ、淵は「牛ヶ淵」と呼ばれている。

その「牛ヶ淵」から2.5kmほど下流には、幅およそ90m、落差約10mの「鮎壺（藍壺）の滝」がある。この滝に伝わるのは1193年の話。源頼朝が富士の裾野で巻狩り（遊興や神事祭礼、軍事演習を兼ねて、イノシシやシカを大人数で四方から取り囲み射止める狩猟）を行った際、付近の亀鶴という美貌の娘がいると聞いた。召し出そうとするも、亀鶴はこれに応じることなく、この滝に身を投げたという。

映画好きなら、黒澤明の映画「七人の侍」で名優・三船敏郎が鮎を捕まえるシーンの撮影場所としてご存じだろう。しかし、ロータリー関係者なら、鮎壺と耳にすれば？

三島駅からタクシーで5分。車窓から
壮麗な富士に見とれていると、モダン
な建築の米山梅吉記念館が現れる



米山梅吉(1868―1946)。4歳の時に父親が他界し、三島へ移住。長泉の映雪舎で漢学を学び、自宅から8kmの場所にある沼津中学校に通って進歩的な教育を受けた

まだまだ、この滝には物語がある。

「奉仕の心」の輪を この町で大きく

幼時よりこの滝で遊び、長じて雅号を「藍壺」としたのが、日本のロータリーの創設者・米山梅吉である。1969年、この米山の成長を支えた当地に、米山梅吉記念館は建てられた。

長泉ロータリークラブ(RC)15代会長・三枝徳造名誉会員いわく「当クラブは米山梅吉記念館への支援協力を大きな目的として創立し、現在も創立時の精神に基づいて動いています」とのこと。1990年のクラブ創立5周年記念では、米山が学んだ映雪舎の後身・町立長泉小学校前にあるいずみ公園に銅像を建立し、『長泉町が生んだ奉仕の人 米山梅吉翁物語』を町内全世帯に配布。10周年には米山記念館の前庭にある「いさかひもなき漫々の春田かな」の句碑を写した拓本を関係者に寄贈した。

加えてクラブ創立15周年では町内小中学校の賛同を得て、米山の命日である4月28日を「米山梅吉デー」に制定。町内の児童に奉仕を通じて、米山の「奉仕の心」を学んでもらう目的で、現在も継続中だ。

20周年時には町内小中学校5校に、米山文庫として、コンパクトな書棚と書籍を寄贈。25周年には長泉町・米山記念館・長泉RCが協力、青少年育成を目的に整備し、旧記念館の

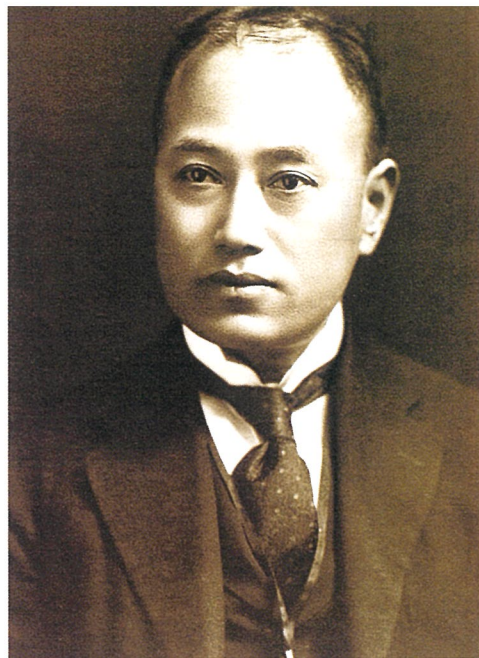
建物を「米山文庫 こども図書館」として復活させた。

2019年には米山梅吉生誕150周年を記念し、町民にその生涯を周知す

るための「梅吉祭り」を開催。米山への理解を深めてもらうべく、寸劇や読み聞かせ、記念館学芸員によるクイズラリー、米山奨学生による国当てクイズ、中学生ボランティアによる歌やゲームなどを行い、600人近い来館があった。

長泉RCは近年、地政学的な試みにも注力している。長泉町のアクセスに長けた立地条件が人を呼び、県内で唯一、人口が増加している点に着目。町の子育て支援政策を補完するような事業やスポーツ大会の開催など、青少年育成のための奉仕に力を入れているのだ。一連の事業で米山梅吉の功績や記念館を積極的にPRすることで、長泉町に住み始めたばかりの人にも梅吉翁を知ってもらうことで、郷土の誇りとしてもらうことに期待しているという。

クラブ創立以来の理念を体現し続けることが未来のロータリアンを生み、この地の新たな物語として紡がれていくのだろう。



(公財) 米山梅吉記念館所蔵



①富士の山麓に位置する長泉町。富士山頂の気象観測所は1933～37年まで、米山が初代理事長を務めた三井報恩会の補助を受け運営された ②長泉RC創立5周年時、町内全ての家庭に配布された『米山梅吉翁物語』 ③同じく5周年時に建立した梅吉翁の銅像。母校の後輩が「米山梅吉デー」で奉仕活動をする姿を見守るかのようだ

II

深谷

偉人を知り、地域を語る。
市と共に行う郷土愛を育む取り組みとは？

渋沢栄一と郷「土」愛

二つの河川が育んだ 肥沃な土地の深谷市

埼玉県北部。利根川と荒川に挟まれた場所に位置するのが、深谷市（人口約 14 万人）である。北部に妻沼低地、中部から南部にかけては更新世（約 258 万～1 万 1,700 年前）に形成された櫛引・江南台地が広がる。

二つの河川が長い時間をかけて育んだ肥沃な土地の深谷。この地の人々は粘度が高く硬い土の恩恵を受けてきたのだろう。

「深谷」と聞いて、まず最初に思い浮かべるのは、ブランド野菜・深谷ねぎではなかろうか。その特長は何といっても甘さで、糖度は 10～15 度。これはみかんなどの果物類に匹敵する。

この地でねぎの栽培が始まったのは 1900 年頃。千葉県柏地方産のねぎを自家用に作ったのがきっかけといわれている。大正時代には「深谷ねぎ」という商標が誕生。1916 年に東京への出荷が始まり、その 3 年後には外皮をむいた深谷ねぎを 2 トントラックに積んで直接、東京に出荷した。当時としては画期的な出荷方法であったため、話題になったそうだ。

この他にも深谷市では肥沃な土を生かした産業が盛んだ。キュウリやスイートコーン、ブロッコリーといった野菜類に加え、全国一の出荷量を誇るユリや多彩な品種のチューリップなど、観賞用植物も多く出荷。ひよっとするとあなたが贈った花は深谷産だったかもしれない。

農業だけじゃない！ 「深谷の土」を活用した産業

この地には古くは 6 世紀後半から 8 世紀初頭にかけて、荒川右岸に 100 基を超える小規模な古墳（鹿島古墳群）が分布していたと考えられている。そのうち、東西 800 m に分布する 56 基は埼玉県指定史跡である。金錯銘鉄剣とも称される国宝・稲荷山古墳出土鉄剣が発掘された埼玉古墳群など、大規模な古墳が数多くあるが、鹿島古墳群はその中でも有数の広さ。また、深谷近郊の遺跡の調査では、粘土採掘坑や埴輪窯跡、埴輪や土師器といった土器が発掘されており、この地の人がこの地の土の性質を熟知していたことが分かる。

また、良質な粘土を用いた瓦作りは奈良時代から行われていたとされ、江戸中期には将軍・徳川吉宗（1684－1751）が町屋（今でいう店舗付き住宅）の建築に瓦の使用を許可したことで、製造が隆盛。

河川を活用して東京への輸送が見込めることと、土の性質を見込んで、明治期には日本煉瓦製造株式会社が設立された。製造施設は国重要文化財となっており、中でもドイツ人フリードリッヒ・ホフマンが考案したホフマン輪窯 6 号窯は、月約 65 万個のレンガを生産。1968 年までの約 60 年間、稼働し続けた。

今日でもこの地の土は光沢が良く、銀色の艶が長持ちする深谷瓦として親しまれている。



①深谷 R C が創立 50 周年を記念して寄贈した駅前のからくり時計。普段は市のイメージキャラクター「ふっかちゃん」が見えているが、正時には渋沢翁が出現する ②深谷 R C は市役所内に「渋沢栄一とお札」の展示コーナーを常設 ③渋沢も愛した深谷の郷土料理、煮ぼうとう。根菜類のうまみが詰まったしょうゆベースのだしと幅広の麺は相性抜群だ



▲ 1966年に改築された深谷駅。深谷産のレンガを用いた東京駅に模したデザインになっている

「新紙幣フィーバー」を一過性にさせない取り組み

このレンガ製造施設建設の旗振り役となったのが、あまたの企業設立に関わった実業家で、「近代日本資本主義の父」と称される渋沢栄一である。

当地にあるクラブは、この偉人を「縁」として他クラブとの関係性を深めている。例えば、深谷東RCは渋沢が北海道十勝清水町で開墾事業を行った縁で、清水RCと友好クラブを締結。また、深谷ノースRCは、白河西RCと姉妹クラブになっている。これは渋沢が崇拝した江戸幕府の老中で陸奥国白河藩主でもあった松平定信（1758～1829）を祭るため、福島県白河市の南湖神社の建立に尽力したことが縁となつてのことだ。さらに、深谷RCは渋沢が主任として群馬県にある世界遺産・富岡製糸場設立に携わったことから、富岡RCと友好クラブを締結している。

深谷RCは2011年、創立50周年記念事業として、駅前にからくり時計を寄贈。さらに

60周年時からは市教育委員会と共に「栄一^{エイワン}コンクール」を実施している。これは市内の小学4年生と中学2年生を対象とした絵画コンクールで、渋沢の伝記を読んで思い浮かべた情景を描き、優秀作を同クラブが表彰するというユニークなもの。このコンクールは10年間の継続予定で、今年3年目を迎えた。

また、深谷RCは新札発行に伴い市役所に「渋沢栄一とお札」コーナーを常設。6番目に刷られた1万円札の展示の他、映像を放映している。動画を通じて市民が渋沢や深谷市について親近感を覚え、ふるさとについて語れるようになり、郷土愛を深めてもらうことが狙いだ。

なお、同クラブは今年7月3日の「新紙幣フィーバー」を一過性のものにしないため、次なる仕掛けを検討している。このような対外的なPRはもちろん、地域の一人一人の郷土愛を高め、次世代につなぐことが「一過性でない」地域の経済発展に寄与するのだろう。



市役所で展開する「渋沢栄一とお札」では、紙幣や渋沢の人となり学べる動画を公開

www.youtube.com/watch?v=-xtWeXz-xno

渋沢栄一（1840～1931）。現在の埼玉県深谷市血洗島生まれ。著書『論語と算盤』では、公益を追求する道徳と利益を求める経済は一致すべきだとする「道徳経済合一説」を唱えた

埼玉県深谷市所蔵



Ⅲ

中津

多くの先駆者を輩出した歴史に学び、
「人財」の育成を通じて未来を築く。

福澤諭吉と「人を造る」

希少生物の宝庫・中津干潟や 霊峰・英彦山など自然豊かな中津市

大分県で3番目に人口の多い中津市（約8万人）。北部の周防灘沿岸に広がる中津干潟は、カブトガニなどの希少な海洋生物の宝庫だ。ここには越冬のため、多くの水鳥もやってくる。世界で8～9万羽程度しかいないとされるヨシガモが、2015年にここで1万羽確認されるなど、貴重な水鳥の飛来地として知られる。

市域南部は山間部となり、福岡県との県境には三峰からなる霊峰・英彦山がそびえる。この山は修験道の霊場として有名で、山形県の羽黒山、奈良県の熊野大峰山と並ぶ「日本三大修験山」の一つだ。

その英彦山を源流とする山国川の上・中流域には、奇岩が連なる景勝地・耶馬溪がある。古来、交通の難所として知られ、この地を訪れた江戸時代の僧・禅海は、1735年から岩壁を掘削して青の洞門を開通。ここから想を得て菊池寛は『恩讐の彼方に』を出版した。

軍師・官兵衛が築城し、 茶人・三斎が完成させた中津城

市街地はかつて城下町であったことから、戦国～江戸時代にかけての多くの史跡が残っている。その筆頭は何といても中津城だろう。

築城したのは、豊臣秀吉の側近として軍事的才能を発揮した黒田孝高（1546～1604）。2014年のNHK大河ドラマ「軍師官兵衛」でご存じの方も多いだろう。

その中津城を2年がかりで完成させたのが細川忠興（1563～1646）だ。忠興は戦国時代、足利義昭、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康に仕えた武将である一方、茶人として千利休の7人の高弟「利休七哲」の1人として三斎流の開祖となった、多才な傑物であった。

江戸時代中期から明治維新までは、三河（現在の愛知県東部）より入封した奥平氏の居城となる。その三代藩主・昌鹿の母親が骨折した際、長崎の蘭方医・吉雄耕牛による見事な治療を目にする。これがきっかけで奥平家は蘭学へ注力。五代藩主・昌高に至っては「蘭癖大名（蘭学へ



中津駅を出て、史跡が点在するかつての城下町を20分ほど歩くと、九州に遺る最古の近世城郭で、日本三大水城の一つ中津城が見えてくる



①福澤諭吉が青年期を過ごした旧居(中津市留守居町) ②福澤諭吉旧居のすぐそばには、中津RCが2020-21年度に移転事業を行った向笠記念公園がある ③中津城3階は中津RCが寄贈した展示物がズラリ。創立50周年時の当地の蘭学の歴史を紹介したパネルの他、60周年時の向笠元RI会長の足跡をたどったパネルと、世界各国を訪問した際にもらった記念品が展示されている

極端に傾倒した大名)」と呼ばれていた。こうした藩の個性もあって、江戸後半期『解体新書』を杉田玄白らと共に著した前野良沢、日本歯科学の開祖・小幡英之助、心臓の刺激伝導系を発見した「心臓ペースメーカーの父」こと田原淳など、医学界の先駆者が輩出された。

蘭学のすゝめから 学問のすゝめまで

こうした時代の中で頭角を現した一人に、慶應義塾大学の創設者・福澤諭吉がいる。

中津RCでは、当地の歴史的背景に着目し、恵与を考え、「蘭学の里・中津」を内外にPRし続けている。市民に向けては1989年、創立35周年事業として蘭学者の功績を銘した「蘭学の碑文」を、創立50周年時には「蘭学の里・中津と中津城」顕彰碑を建立。昨年度迎えた創立70周年時には、顕彰碑近くにしだれ桜を植樹した他、「蘭学の里・中津の未来へ向けて一命輝く人材育成を」と題したシンポジウムを開催した。過去の偉人に学び、現在を鑑み、未来に思いをはせ、未来を築く「人材」育成の重要性を啓発するため、専門家による講演やディスカッションで構成した。

2021年に中津市は、幕末から明治期にかけて優れた蘭学・洋学者を輩出した島根県・津和野町、岡山県・津山市と“津”の付く3市町で「蘭学・洋学三津^{さんしん}同盟」を締結した。これを受けて中津RCはさらに、蘭学・洋学がらみの活動を企画中だそうで、新たな交流が地域社会

の経済発展へとつながることを期待しているそうだ。

最後に中津の人材育成に欠かせない「学究」にまつわるエピソードをいくつか紹介しよう。代表的なものが「『天は人の上に人を造らず人の下に人を造らず』と言えり。」で有名な福澤諭吉の『学問のすゝめ』。その骨子は「人は平等に生まれてくるが、学問によって差が生じる。だから学びなさい」である。

藩医の前野良沢には、藩士から蘭書を見せられた際、「同じ人間が書いたのなら、分からないわけがない」と一念発起。年齢^{よわい}48にして蘭学を学び始めたという記録が残っている。

抗酒薬・シアナマイドを創案した当地の精神科医は、子どもから「僕のおじいさん、おばあさんは何人いるの?」と聞かれ、30世代前まで計算した。その結果、10億人になることを知り、人類は疑いようもなく一つの大きな家族だと思い至った。この人物こそ中津RC会員で、日本から2人目のRI会長(1982-83年度)となった向笠廣次である。その彼が会長時に掲げたテーマは「人類はひとつ 世界中に友情の橋をかけよう」であった。

中津のこれらの話には、何か共通点があると思うのは気のせいだろうか。



福澤諭吉(1835~1901)。全17冊から成る代表作『学問のすゝめ』は1冊20万部ほど売れたそう。思想家・教育者のみならず、近代日本のベストセラー作家でもあった

出典：国立国会図書館「近代日本人の肖像」(www.ndl.go.jp/portrait/)

コラム

『常識関門』の3人を巡る考察

今回の特集で取り上げた3人、米山梅吉・渋沢栄一・福澤諭吉は江戸後期から明治維新という日本の激動期に、一己の生を全うすることに全身全霊をささげた傑物であることは、誰の目にも明らかだろう。ここでは米山の著書『常識関門』を軸に“三傑の縁”についてのコラムをお届けする。

『常識関門』に見る 維新先覚者・渋沢栄一

まず、この3人の生まれた時代を整理しよう。福澤は1835年、渋沢は1840年、米山は1868年に生まれた。つまり、米山は福澤・渋沢と親子ほど年齢が離れていたのである。そんな米山は、維新の風を一身に浴びた先達をどのように見ていたのだろうか。

米山は1918年から母校・現在の青山学院大学で課外講義「常識講座」を開始。その内容は財政学や常識判断、時事・経済問題など多岐にわたるもので、学生たちの間で大変な評判となった。37年にはこの講義の内容をまとめた『常識関門』を出版。米山はこの本の中で、渋沢・福澤の兩人について言及している。

若かりし日の渋沢はなかなか血気盛んで、1863年に渋沢は高崎城を乗っ取って武器を奪い、長州藩と共に倒幕を計画している。『常識関門』7章「論語読みの論語知らず」では、そんな渋沢の生きざまを「青年時代より生死の巷を往来」と評し、「富を作り之を使用すべきを説くと共に、仁義道德の重んずべきを唱へ」た「維新先覚者の一人」と見ていた。渋沢は著書『論語と算盤』で

知られるが、論語と算盤の絵をいつでも眺められるように床の間に飾っていたというほど、『論語』を重視していた。米山梅吉記念館には神童と称されていた米山が子ども時代に学んだ『論語』と算盤が展示されていることも鑑みると浅からぬ“縁”を感じる。

それにしても、時代の気まぐれというべきか、あるいは類は友を呼ぶというべきか、渋沢と米山には「経済人であること」「道德を重んじ利益を公益として還元したこと」「論語と算盤」以外にも多くの共通点がある。

例えば、二人は文人でもあった。両者とも生家の付近には清川が流れており、渋沢は雅号を「青淵」、米山は「藍壺」とどちらもその川にちなんだものとしている。渋沢の雅号は、いどこであり幼少期に『論語』を学ぶべく通った師であり、倒幕を共に計画していた尾高惇忠が名付けたもので、これは渋沢の生家の裏手に美しい淵があったこと、渋沢家が染料となる藍玉の製造・販売を行っていたことに加え、「青は藍より出でて藍より青し」、つまり、弟子が師より勝ることを願った名称である。

さて、渋沢と米山の二人に面識はあったのだろうか。1893年のシカゴ万博で、米山は日本の出展品の解説員をしていたが、この時の評議員には渋沢の名がある。1921年、米山は英米訪問実業団の団員に選出され、その送別昼食会には渋沢も出席していた。関東大震災の翌年に当たる1924年、世界中のロータリアンからの義援金を活用して、東京ロータリークラブが東京市の養育院に女兒寮兼学校（通称：Rotary Home）を寄贈。その創立記念の夕食会で、米山がロータリークラブの歴史と精神を話すと、養育院の院長を務めていた渋沢が演説に立ち、ロータリーの支援への謝辞を述べている。この事実からも面識はあったといえるだろう。

大常識家・福澤諭吉と 勝海舟の因縁

『常識関門』9章は「勝海舟と福澤諭吉」。1860年、幕府は日米修好通商条約の批准書交換のため、使節団を



『常識関門』

(1937、実業之日本社)

常識について全12章を立て、さまざまな角度から検討する表題作の他、幼少期のエッセイ「思ひ出」、短歌55首「折にふれて」を収録

派遣。勝と福澤は正使を護衛する船（咸臨丸）に同船した。道中は嵐との遭遇、重度の船酔い、指揮系統の乱れなど、散々なものに。ここから両者の確執が始まった説もあり、特に福澤は勝に対し、さまざまな著書の中で強く批判した。

一方、勝を師と仰ぐ米山は初の著書『提督彼理』（1896）でも勝の題辞を拝して掲げており、「我輩は彼の晩年に愛顧を受け、寢室に侍して親しく教を受けた一人」との自負もある。ということは、福澤に対する心証は良くなさそうだが、米山は福澤の勝批判を進歩主義者で実践家である福澤らしくない、としつつ「権勢に屈せず富貴を求め」ない「大常識家」として敬していたようだ。

冒頭で触れた通り、福澤と米山の年は二回以上離れているためか、福澤から見た米山像がうかがえる文献は見つけられなかった。しかし、米山がジャーナリストを目指していた折に、福澤が創刊した『時事新報』に職を求めたことが分かっている。また、三井銀行へ転身する際の推薦人は同銀行の中上川彦次郎が務めたが、この中上川は福澤のおい。“縁”は必ずどこかに生じてしまうから面白い。

ちなみに、米山が銀行員として神戸支店に移って間もないある日、中上川からの欧米の銀行視察の出張命令と、恩師からの大臣秘書官への推挙の連絡が同時に舞い込んだ。一説によると、この件の推薦者は勝海舟だといわれている。これは勝と福澤の“因縁”とでもいうべきだろうか。

『論語』推進派と 反対派の協力

新旧一万円札の顔の渋沢と福澤。前者は『論語』推進派で、後者は批判する立場にあった。福澤は『学問のすゝめ』で「そもそも孔子の時代は明治を去ること二千有余年」「後世の孔子を学ぶ者は、時代の考えを勘定のうち

に入れて取捨せざるべからず」と記している。つまり、時代が変わったのに、孔子の教えをそのまま受け入れて実践するのはいかなものか、と批判していた。

そんな二人は1869年が初対面。この頃、渋沢は大蔵省に入ったばかりで、海外の制度に詳しい福澤に、租税や土地制度などの計量の基準を相談するため、福澤邸を訪問した。しかし、福澤は自著を取り出して、一方的に教え込もうとする。この一件で渋沢は福澤のことを風変わりな人物だと思ったようだ。

このような出会いなら以後、疎遠になりそうなものだが、両者は1894年の日清戦争時に「出征兵士の家族の支援」「戦病死者の慰問・弔問計画」を立案。福澤は自らが創刊した『時事新報』で計画の内容を訴え、渋沢は企業に声をかけ寄付金を収集、それぞれの得意範囲を生かし、慈善事業に努めた。

二人の関係性はその時々によって変化はあっただろうが、福澤は著書『実業論』の中で渋沢のことを、「官尊民卑の時代に実業界に飛び込んで、今や渋沢を知らないものはいない、という地位を手にしたことは大変栄誉だ」と絶賛。対する渋沢は、「先生（福澤）は何にも恐れず屈せず、見識高い。特に国の発達は富の力に依存する、と主唱していた点は敬服する」と『渋沢栄一伝記資料』で評している。

ちなみに福澤が眠る東京・麻布山善福寺の一室は幕末期に初代アメリカ合衆国公使館として使われたこともあり、静岡県下田市・玉泉寺にあった初代駐日アメリカ合衆国公使、タウンゼント・ハリスの肖像が刻まれた記念碑が移設されている。この記念碑の除幕式で「封建的専制から立憲国に、また資源乏しい国ながら産業・貿易も盛んになったのはハリスのおかげ」とスピーチしたのは、渋沢栄一であった。

参考文献:『米山梅吉ものがたり』（2019）銀の鈴社 紫崎由紀、他

名士を顕彰した事業を募集！

今回の「地域社会の経済発展月間」特集では、地域の偉人を活用し、次世代につなぐことで、直接／間接を問わず、地域の経済発展に貢献する各地のロータリークラブの取り組みをお届けいたしました。

『友』では、まだまだ当地の名士を活用した事業を募集しております。

- ・クラブ名（投稿者名）
- ・偉人を活用した事業の内容

を明記の上、hensyu@rotary-no-tomo.jp まで情報をお寄せください。

ご投稿、お待ちしております。

ロータリーと共に
ポリオをなくそう

世界
ポリオデー
10月24日



世界ポリオデーに向け
活動を記録しよう



(公財)ロータリー米山記念奨学会 ロータリー日本国内全地区合同プロジェクト

よねやまにもっと親しもう!



日本ロータリーの創始者・米山梅吉(1868～1946)の生前の功績をたたえ、後世まで残る有益な事業を行いたい――。

1952年、東京ロータリークラブ(RC)が発表した「米山基金」は、海外から優秀な学生を日本に招き、勉学を支援する奨学金事業でした。その背景には、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、“平和日本”を世界に伝え、国際親善と世界平和に寄与したいという強い願いがありました。

その後、事業は発展(主な出来事は右の年表の通り)。現在では、日本のロータリーが共同で運営する、国内最大級の民間奨学団体となりました。これまで支援した留学生は、2万4,000人以上となっています。

毎年10月は米山月間。今回は特集として、米山学友会の活動の一部、奨学事業に関する資料、事業の運営を支える理事、監事、評議員の方々を、ご紹介します。

- | | |
|------------------------------------|--------------------------------------|
| 1952 ● 東京RCが米山基金構想を発表 | 1988 米山奨学生学友会(西日本)発足 |
| 1954 最初の奨学生ソムチャード・ラタナチャタ氏(タイ)来日 | 1989 韓国米山学友会発足 |
| 1960 ロータリー米山記念奨学会に改称 | 1995 米山学友を中心として、台湾に台北東海RC創立 |
| 1967 財団法人ロータリー米山奨学会設立 | 2002 大学推薦制度を全国で施行 |
| 1969 機関誌『よねやま』発行 | 2006 現地採用奨学金の試行開始 |
| 1971 米山カウンセラー制度設置 | 2007 日本全地区によるロータリー多地区合同奉仕活動の手続き完了 |
| 1972 米山功労者制度設定 | 2008 米山学友ホームカミング制度開始 |
| 1975 米山週間設定(4月22～28日) | 2009 中国米山学友会発足 |
| 1978 特別寄付金への免税措置認可 | 2010 米山学友を中心として、国内に東京米山友愛RC創立 |
| 1980 米山週間移動(10月1～7日)83年から月間に変更 | 2012 公益財団法人に移行
タイ米山学友会発足 |
| 1983 台湾米山学友会発足 | 2013 ネパール米山学友会発足 |
| 1984 機関誌『よねやまだより』発行 | 2014 モンゴル米山学友会発足 |
| 1985 米山奨学生学友会(関東)発足 | 2016 スリランカ米山学友会発足
マレーシア米山学友会発足 |
| 1986 米山奨学生学友会(関西)発足
同学友会(北関東)発足 | 2017 ミャンマー米山学友会発足
米山記念奨学会財団設立50周年 |
| | 2018 内閣府賞勲局より「紺綬褒章」の公益団体に認定 |
| | 2023 ベトナム南米山学友会発足 |



米山学友会を知ろう

■ 上海 米山学友会の子ども支援

上海米山学友会大連支部は、2018年からの6年間、千葉南RCと共同で大連市にある自閉症の子どもたちの施設で職業訓練支援を行ってきました。

大連出身の学友で、千葉南RC会員の劉亜斌さん（2000 - 01 / 千葉南RC）が学友会との橋渡し役を担当。日本で修業経験のあるパン職人に依頼して、子どもたちが製パン技術を学ぶ機会を提供してきました。22年からは販売を始め、地域の人気を集めているそうです。

また、23年からは独自に新事業をスタート。学友が資金を出し合って市郊外に農地を借り、野菜や花を育て、施設の子どもたちが土に触れる機会をつくるという活動です。

農場は「友縁農場」と名付けられ、24年5月4日に子どもと保護者を招待。冬に植えた野菜（白菜、ホウレン草など）を収穫し、夏の収穫に向けて苗の植え付けを行いました。

なお、日々の手入れは同学友会のメンバーが交代で行っており、この活動も定着させていきたいと意気込んでいます。



■ モンゴル 米山学友会、周年行事を機に交流の輪

モンゴル米山学友会の創立10周年記念式典が7月20日、首都ウランバートルで開催されました。モンゴル出身の米山学友だけでなく、海外の学友、日本からも数十人のロータリー会員が出席しました。式典では、2022年から会長を務めてきたセデバザル ウドワルさん（2010 - 12 / 下野上三川RC）が退任し、新たにバンバット トウメンデルゲルさん（2014 - 15 / 大阪東RC）が7代目の会長に就き、その就任式が行われました。続いて三つの分科会が開かれ、最後は祝賀会で記念の節目を祝いました。

翌日のエクスカースションでは、参加者が乗馬体験や民族コンサート鑑賞など、モンゴルならではの文化を体験しました。



奨学期間を終えた「米山学友」たち。その同窓会組織・米山学友会は現在、国内外に 43 団体があり、独自の奉仕活動を実施したり、日本と母国の交流の架け橋として活動中。周年の節目を迎えた学友会もあり、その一部をご紹介します。

■ ベトナム に学友会誕生！

10 番目の海外米山学友会として発足した、ベトナム南米山学友会の創立記念式典は 2024 年 3 月 10 日、ホーチミンにて約 140 人の参加者を得て開催されました。日本から 40 人以上のロータリー会員、在ホーチミン日本国総領事館の古館誠幾首席領事も出席したほか、韓国、中国、モンゴル、タイ出身の米山学友たちもお祝いに駆け付けました。

同学友会のメンバーは創立以前の 2015 年から、「超我の奉仕」の文字を背中にあしらったオリジナルシャツを身に着け、福祉施設への慰問などを行ってきました。以来、日本のロータリークラブとも連携



してきたことから、式典ではこれまでの支援に対し、各関係クラブへ感謝状を贈呈。支援先の児童養護施設の子どもたちが、練習を重ねたダンスを披露するなど、温かい雰囲気があふれる会となりました。

■ 台湾 米山学友会が創立 40 周年

最初の米山学友会として、1983 年に発足した台湾米山学友会。2023 年 11 月 25 日には、台北市内で創立 40 周年の記念式典が開かれました。台湾在住の学友はもちろん、日本のロータリー会員、韓国やスリランカの学友も集い、総勢 111 人参加の盛会となりました。

林志昇理事長（1992 - 94 / 津 R C）は開会の

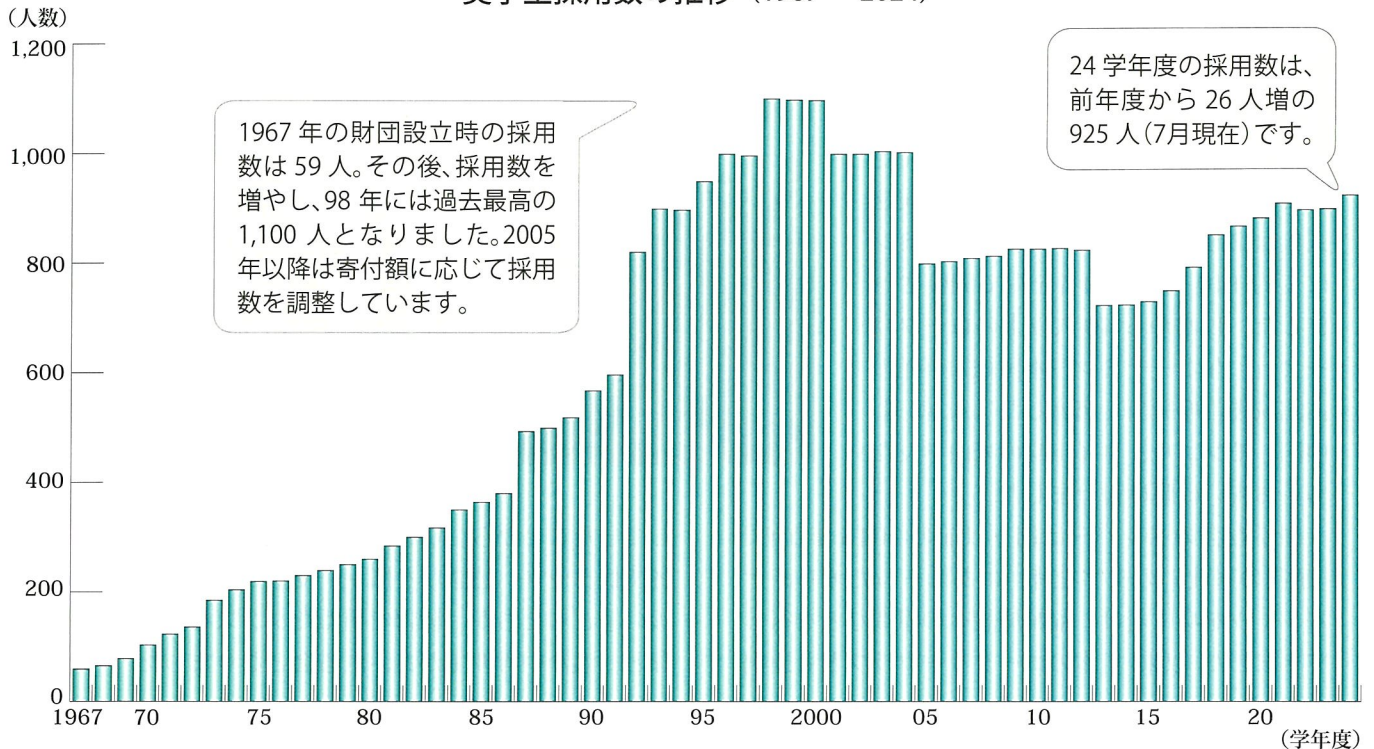
あいさつで、ロータリー会員と米山記念奨学会への感謝の言葉を述べ、その後は皆で、学友会の歩みを振り返りつつ交流を深めました。

同学友会は 2009 年、恩返しに代えて、台湾で学ぶ日本人の若手研究者を対象に奨学金制度を創設。支援してきた日本人奨学生は累計 61 人となり、今回の式典には元奨学生 6 人も出席。また、現役の奨学生 5 人は現地の言葉で流ちょうな自己紹介を行い、温かい拍手が送られました。



ロータリー米山記念奨学会資料

奨学生採用数の推移 (1967 - 2024)



理事および監事 (2024年9月現在)

理事は、採用数の決定や事業の計画、予算策定など。監事は、理事の職務執行の監査などを行っています。

理事長	若林 紀男 (2660)				
副理事長	井原 實 (2770)	相澤 光春 (2780)			
常務理事	大久保章宏 (2800)	田中 久夫 (2840)	神野 重行 (2760)	吉田 知弘 (2700)	
理事	漆崎 隆 (2500)	嵯峨 義輝 (2510)	桑原 茂 (2520)	平井 義郎 (2530)	玉木 修 (2540)
	石田 順一 (2550)	高橋 秀樹 (2560)	細井 保雄 (2570)	宇佐見 透 (2790)	北村 仁 (2820)
	沼田 廣 (2830)	野生司義光 (2580)	吉田 隆男 (2590)	古川 静男 (2600)	永田 義邦 (2610)
	高野孫左エ門 (2620)	辻 正敏 (2630)	三浦 眞一 (2750)	檉畑 直尚 (2640)	北河原公敬 (2650)
	山本 博史 (2660)	稲山 三治 (2670)	吉岡 博忠 (2680)	末長 範彦 (2690)	井内 康輝 (2710)
	木下 光一 (2720)	押川 弘巳 (2730)	崎永 剛 (2740)		
監事	上山 昭治 (2580)	鈴木 孝雄 (2580)	藤中 秀幸 (2710)		
名誉理事長	小沢 一彦 (2780)				
事務局長	峯 純子				

評議員は、理事の業務を監督し、理事・監事の選任と解任、定款変更や決算の承認などの役割を担っています。

評議員 (2024年9月現在)

評議員	吉田 潤司 (2500)	石丸修太郎 (2510)	山口 淑子 (2520)	酒井 善盛 (2530)	柳谷 悦磨 (2540)
	太城 敏之 (2550)	大谷 光夫 (2560)	前嶋 修身 (2570)	渡邊 和良 (2770)	青木 貞雄 (2790)
	齋藤 榮助 (2800)	池田 正純 (2820)	田中 常浩 (2830)	森田 高史 (2840)	鈴木 喬 (2580)
	大野 清一 (2590)	都筑 文男 (2600)	湯浅外志男 (2610)	松村 友吉 (2620)	高橋 伸治 (2630)
	浅田 豊久 (2750)	伊藤 靖祐 (2760)	後藤 定毅 (2780)	村上 有司 (2640)	刀根莊兵衛 (2650)
	四宮 孝郎 (2660)	豊田 章二 (2670)	瀧川 好庸 (2680)	岩崎 陽一 (2690)	島 信英 (2700)
	脇 正典 (2710)	堀川 貴史 (2720)	山ノ内文治 (2730)	花島 光喜 (2740)	

地区別寄付額・功労者数・奨学生数

地区	寄付額			功労者数（人）		特別寄付金 寄付者割合 （個人）	奨学生数（人）	
	2023－24 年度（円）	個人平均（円）	累計（千円）	2023－24 年度	対前年度 増減		2024 学年度	累計
2500	14,600,750	6,573	726,559	62	2	18.6%	12	197
2510	29,309,549	12,263	1,315,230	121	－20	43.0%	20	534
2520	16,705,982	8,165	944,902	69	－16	20.0%	13	623
2530	30,955,000	14,083	1,170,932	146	8	48.6%	22	404
2540	9,600,966	8,856	417,977	41	15	27.8%	9	206
2550	29,480,472	18,483	1,565,004	188	9	73.4%	23	761
2560	33,998,435	16,789	1,486,179	160	－8	63.9%	26	550
2570	20,295,900	12,869	1,305,700	103	29	36.9%	18	590
2770	64,119,709	27,853	2,807,259	342	－7	66.4%	36	911
2790	42,259,361	15,952	2,063,106	211	－18	39.4%	31	783
2800	17,126,500	11,410	690,355	60	7	35.0%	12	277
2820	41,331,087	22,114	2,049,642	273	30	70.5%	33	1,066
2830	10,526,272	9,569	434,370	54	10	41.0%	11	197
2840	39,848,355	19,476	1,483,777	222	－27	84.7%	25	488
2580	54,288,658	17,958	2,841,028	155	－22	26.3%	44	1,685
2590	52,287,270	28,232	2,827,416	299	－26	79.7%	41	1,107
2600	24,313,750	13,171	1,574,832	108	－4	20.7%	20	503
2610	41,083,880	16,851	1,547,064	147	56	31.6%	24	549
2620	41,636,278	14,537	1,880,526	139	－38	71.9%	28	580
2630	34,489,763	11,086	1,986,211	103	1	40.3%	18	530
2750	72,432,621	16,923	3,864,961	294	－28	44.9%	57	1,556
2760	170,788,843	36,935	3,688,570	297	－17	35.5%	56	1,087
2780	46,228,030	19,513	2,356,824	258	9	62.3%	31	765
2640	23,736,350	15,254	2,531,675	85	－29	56.6%	22	766
2650	102,703,848	24,251	5,215,444	619	54	82.9%	57	1,418
2660	97,218,252	28,501	4,267,741	499	－29	75.2%	53	1,261
2670	42,748,100	15,046	1,660,237	162	22	34.2%	24	544
2680	40,897,009	16,203	1,951,829	182	12	42.7%	29	816
2690	41,702,325	14,262	1,891,947	184	12	39.4%	27	646
2700	44,603,805	14,182	1,667,520	154	3	45.0%	31	749
2710	42,422,796	13,420	1,949,532	157	－19	41.0%	22	742
2720	22,639,257	9,637	1,080,689	47	－2	40.4%	22	503
2730	24,867,173	10,577	873,475	86	15	30.1%	13	338
2740	24,400,528	11,669	1,180,653	156	40	17.3%	16	513
その他	35,987	0	105,377	0	－2			
合計	1,445,682,861 (注1)	17,293	65,404,543	6,183 (注2)	22	47.3% (注3)	926	24,245 (注4)

■ 第1地域 ■ 第2地域 ■ 第3地域

※太字は、各項目の上位5位の地区です。

(注1) 地区以外からの寄付金は除外しています。地区以外からの寄付金は累計1億537万6,613円です。

(注2) 2023年7月～2024年6月に特別寄付をして、米山功労者として表彰された人数です。

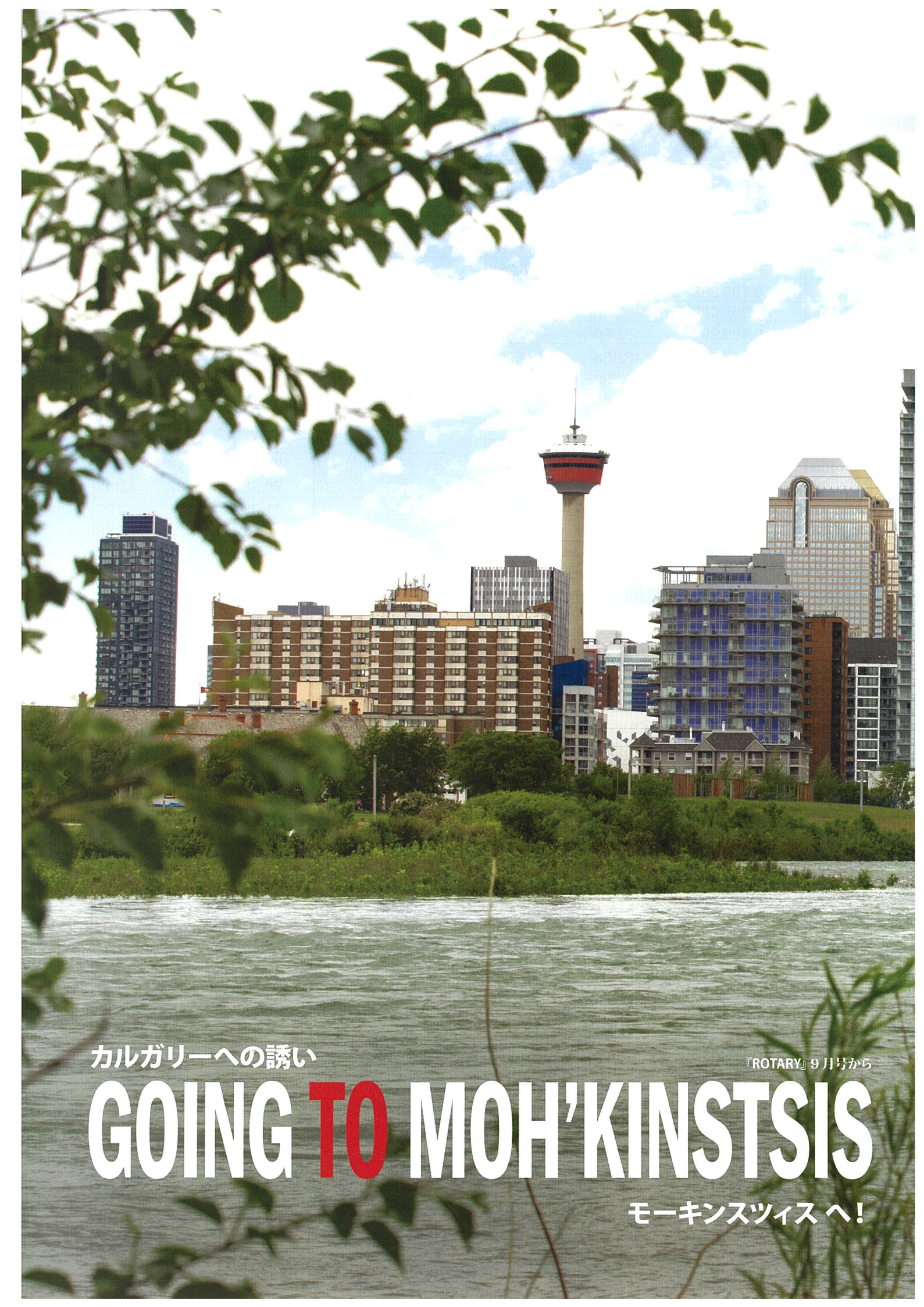
(注3) 2023年7月～2024年6月に特別寄付をしていただいた個人の割合です。

(注4) 奨学期間中の地区移動や、過去の再応募制度で他地区の奨学生となった人は、それぞれの地区でカウントしています。そのため、実際の奨学生累計数（2万4,133人）を上回っています。

※米山記念奨学事業、「よねやまだより」についてのご意見・お問い合わせは、(公財)ロータリー米山記念奨学会まで。

Tel：03-3434-8681 Fax：03-3578-8281 E-mail：mail@rotary-yoneyama.or.jp Web：www.rotary-yoneyama.or.jp





カルガリーへの誘い

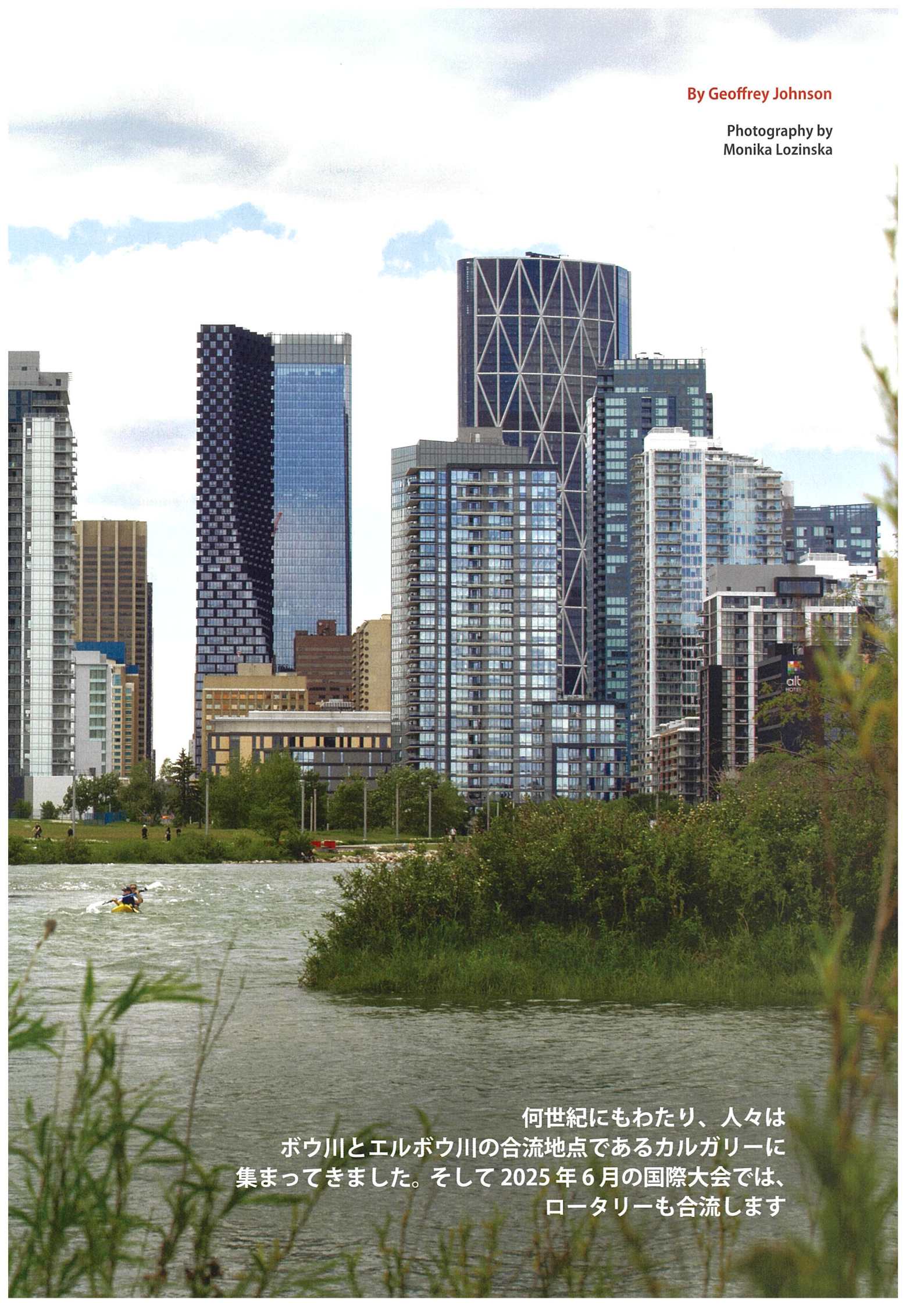
『ROTARY』9月号から

GOING **TO** MOH'KINSTSIS

モーキンスツイス へ！

By Geoffrey Johnson

Photography by
Monika Lozinska



何世紀にもわたり、人々は
ボウ川とエルボウ川の合流地点であるカルガリーに
集まってきました。そして2025年6月の国際大会では、
ロータリーも合流します

広がる山脈を期待して到着しました。しかし私の前に広がるのは空。雄大な白雲が流れゆく広大な青空だけでした。

カルガリーで飛行機から降り立ち、赤い楓の葉で飾られた「Bienvenue au Canada (カナダへようこそ)」の看板に出迎えられた後、空港で最初に目にしたのは、力強い馬の銅像でした。カルガリー出身の彫刻家、ロバート・スペースが、カルガリーの「強さ、精神、成熟さ」から発想を得て作ったとされる彫刻作品です。空には、突進する雄馬のような雲が広がっていました。

300年前、この地には先住民のブラックフット人(シクシカ人、カイナイ人、ピカ二人などの総称)が住んでいました。

彼らはこの地を「肘」を意味するモーキンスツィスと呼んでいました。これは、ボウ川がエルボウ川と合流し、その進路が東から南に突然変わる大きな湾曲部が「肘」の形に似ているから。

「かつてブラックフット人のボディーランゲージでは、肘をたたくとモーキンスツィスに行くということを意味しました」

と、ピカ二人研究者のエルドン・イエローホーンさんは説明します。それは今日でも同じ。肘をたたくのは「カルガリーに行く」という意味です。

その後、ツー・ツィナ人やナコダ人など、他の先住民族もこの川が合流するモーキンスツィスに居住するようになります。そして、ヨーロッパの入植者たちがアルバータ州南西部に進出すると、彼らもまたこの場所を故郷にしました。現在、人口約160万人のカルガリーは、カナダで4番目の都市となりましたが、この地の特徴と歴史は今もそのままです。

2023年10月下旬、私は2025年国際大会の開催地であるこの都市を訪れました。この地で国際大会が開催されるのは初めてではありません。1996年、126の国と地域から約2万5,000人のロータリアンが、「ロータリー家族大集会」をテーマにした第

87回国際大会開催地のカルガリーに集まりました。「家族」、この言葉には今回も注目してください。なぜなら、2025年国際大会でカルガリーを訪れる際には、子どもも含めた家族全員、友人、道中で出会った見知らぬ人でさえも一緒に連れて来たくなるからです。これはカルガリーと偉大な北米西部を体験する一生に一度の機会かもしれません。ぜひ自分の目で確かめてください。

カルガリータワーは、オープンした1968年当時、カナダ西部で最も高い建物でした。今では、カルガリー市内だけでも他の建物に追いつかれてしまいましたが、名高いシンボルであることは変わらず、旅行者が街を観光するときの目印となっています。また、ここは大空への階段でもあります。

エレベーターに乗って、タワーの頂上近くにある展望台(約190m)に行きます。展望台をぐりと回ると、上から見える物について簡単な説明があります。目を凝らして見てみると、その中には国際大会の会場、スタンピードパークの中心にあるスコシアバンク・サドルドームのへこんだ屋根も

見えます。大胆かつ勇気のある人は、ガラスの床に足を踏み入れて、足下にある9番街を見下ろしてはいかがでしょうか。

最後に、西の方向に足を進めると、グレートプレーンズの大平原が広がり、灰色の幽霊のように立ちのぼるロッキー山脈が見えてきます。

この景色からも分かるように、カルガリーにはたくさんの魅力があります。「カルガリーで育った人なら誰でも、ここでは都会特有の問題に悩まされることなく大都市の魅力が味わえる、と言うでしょう。間違いなく大都会ですが、ここには小さな町の雰囲気が残っています」と話すのは、ホスト組織委員会のクレイグ・ストッケ共同委員長。彼の言葉は昨年、アメリカの旅行雑誌『コンデナスト・トラベラー』誌の読者が、カルガリーを世界で最も友好的な街に選んだことから証明されています。

カルガリーの歴史は、何世紀にもわたり先住民が集まってきた場所を、北西騎馬警察が砦として1875年に始めました。後にこの地をスコットランドの城にちなんでフォート・カルガリーと改名。「カルガリー」という名前は、ゲール語で「輝く水」を意味し



写真上:「コンフルエンス史跡とパークランド」では、「マーキング」と呼ばれる木製のモニュメントが、見る角度によっては人や馬の立体的な影に見えます
右:ダウンタウンのパブリックアートの一つに映ったカルガリータワー



ます。

カルガリーの発祥地であるフォート・カルガリーは今日、公園になっています。去る5月、その歴史についてより幅広く伝えようと、この公園は「コンフルエンス史跡とパークランド」と改名されました。

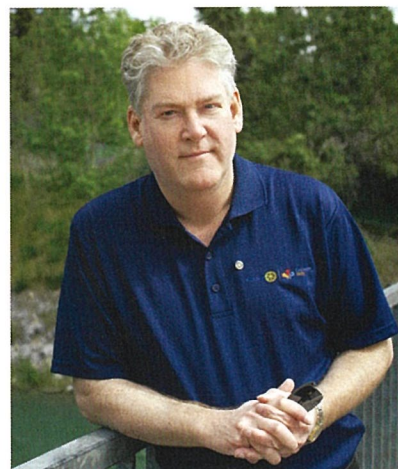
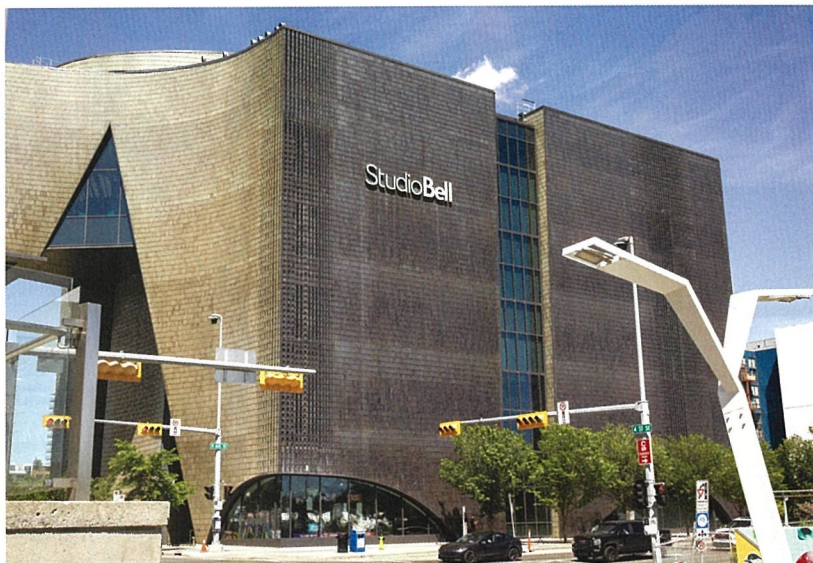
私は3,800坪ほどのこの敷地内で、兵舎のレプリカを見たり、資料館で学んだりするうちに、改名された理由が分かるような気がしました。ここでは、入植者の物語と先住民の物語が絡み合っているのです。

そこには何とも美しい工芸品がありました。しかし、私の眼が捉えたのは、喪失の歴史でした。

ソルトー人とメティス（先住民とヨーロッパ人との子孫）の考古学者で芸術家のオータム・ホワイトウェイによる作品「The Great Slaughter（大虐殺）」は、ほぼ絶滅状態になったバイソンと、バイソンを崇拜し、それに頼って生活してきた先住民の大量殺戮を思い起こさせます。ブラックフット人と他の先住民との間で、アルバータ州南部の土地の割譲について結ばれた条約のレプリカとその説明文もありました。それには、同条約に関連する真実と和解についての体験型の展示もありました。

コンフルエンス史跡を出る前に、さらに探索してみると、目立たない木材の集合体があります（P24 写真）。よく見ると、この地の砦の輪郭を部分的に描いています。その垂直材は不規則な形をしていて、角度を換えると人の顔や体の曲線のシルエットに見えました。骨組みから離れて見てみると、未完成の柵の壁の後ろから人と馬の立体的な影が浮かび上がってきました。見つめていると、その姿が消えたり、浮かび上がったりします。

砦に向かって歩いていくと、劇場がありました。外壁に緑色の人工芝が垂れ下がっています。人工芝には、「THIS FEELS SO REAL（本物みたい）」と、四つの単語が切り抜かれていました。まさにその通りでした。



次 は活気あるイーストビレッジの中心部にあるスタジオベルへ移動しましょう。ここは国立音楽センターで、五つのフロアのうち四つのフロアで音楽を聴く、学ぶ、演奏するなど多彩な体験ができます。これまでも、多くの人々がさまざまな言語でその感想を残しています。最上階から時間をかけて館内を探索してみてもいいかもしれません。

上：カナダ音楽の殿堂があるスタジオベル
中：カルガリー動物園を楽しむ、ホスト組織委員会共同委員長のマーク・スターラットさんと息子のアレックスさん
下：スターラットさん
右：魅力的な街バンフと雄大なロッキーマウンテン。カルガリーからの短いドライブでは、目を見張る美しい風景が広がります

昨年、『コンデナスト・トラベラー』誌の読者が、カルガリーを世界で最も友好的な街に選びました



さあ出発

カルガリー国際大会は6月25日に終了しますが、滞在を延期して7月4日から始まる世界的に有名なカルガリー・スタンピードも体験してみては？ この二つのイベントの間に、アルバータ州の六つのユネスコ世界遺産の地を訪れる絶好の機会もあります。

- **カナディアン・ロッキー山脈自然公園群** は、隣接する国立公園と州立公園（合わせて七つ）から成ります。そのうちの一つ、バンフはもちろん有名ですが、滝、湖、雪に覆われた山々、星空の夜が広がるその他の公園も訪問する価値があります
- 長年の間、アルバータ州の広大な荒れ地は、白亜紀の宝石の宝庫となってきました。**州立恐竜公園**でぜひ確かめてみてください。その後は、ドラムヘラーのロイヤル・ティレル古生物学博物館を訪れてみてはどうでしょうか
- 平原の文化がよく分かる**ヘッド・スマッシュト・イン・バッファロー・ジャンプ**は、単なる10mの高さの崖ではありません。ここでは、5,500年以上前から先住民がバイソンを追いかけて崖から突き落とし狩猟していました
- アルバータ州とモンタナ州の境界にまたがり、カナダのウォータートンレイク国立公園とアメリカのグレイシャー国立公園から成る**ウォータートン・グレイシャー国際平和自然公園**は、国際的な友好の象徴であり、息をのむほど美しい自然の楽園でもあります
- ブラックフット族の神聖な地、「**Áísiai'pi**（「書かれている」または「描かれている」という意味）」は、**ライティング・オン・ストーン州立公園**としても知られています。北米で最大の岩面彫刻の集積地の一つで、その彫刻は、かつてここに住んでいた先住民または隣接する丘にすむ精霊によって刻まれたとされています
- カルガリーから車で14時間の広大な**ウッド・バッファロー国立公園**には、約3,000頭の放し飼いのバイソンが生息しています。ここは、クマ、ヘラジカ、オオカミ、フクロウ、アメリカシロヅルなどの生息地でもあります。天体観測が好きな人は、ここが世界最大の天文観測保護地であることにも注目！



また、カルガリー動物園のアトラクションの一つに、「ワイルドカナダ」と呼ばれる新しい展示エリアがあります。ここでは、ハイイロオオカミやホッキョクグマの他、カナダ国内に生息する野生動物が見られます。緑豊かな園内をゆっくりと散策していると、シマウマ、キリン、ライオン、キツネザル、水遊びしながらよちよち歩くオウサマペンギンなど、たくさんの動物が見られました。「先史時代の公園」では、恐竜のレプリカに出くわしました。

歩行者とサイクリストに優しいこの街には、北米のどの都市よりも多くの自転車道や散歩道があります。私も動物園まで徒歩で向かいました。途中で道草したため、到着まで数時間かかりました。ダウンタウンに戻る時は、カルガリーの公共交通の一つ、Cトレイン・ライトレールに乗ったのですが、移動時間が大幅に短縮されました。2025 年国際大会の登録者は大会中、この電車を無料で利用できます。

フェアモント・パリサー・ホテルに戻ったものの、夕食までには十分な時間があります。カルガリーには世界クラスの建築、おもてなし、そして夜の

街のにぎわいがあります。同時に美食の楽園でもあり、あらゆる料理を味わえます。その夜は、街の看板料理を試すことにしました。

カルガリーは「カウタウン（牛肉の街）」。ここに住む人たちは、大麦を飼料とするアルバータ牛の風味豊かな牛肉を誇りにしています。そこで私はこの夜、陽気で居心地の良い明かりの Vintage Chophouse & Tavern に入り、24 オンス（約 680 g）の骨付きステーキを味わいました。

と晩中雪が降り続き、道路は混乱状態でしたが、私には行かなければならない場所があります。1950 年、アメリカ出身の歌手、シンディー・ウォーカーが歌った「Blue Canadian Rockies」の中にこんな一節があります。

*In the blue Canadian Rockies,
Spring is sighing through the trees.
And the golden poppies are
blooming
Round the banks of Lake Louise.*

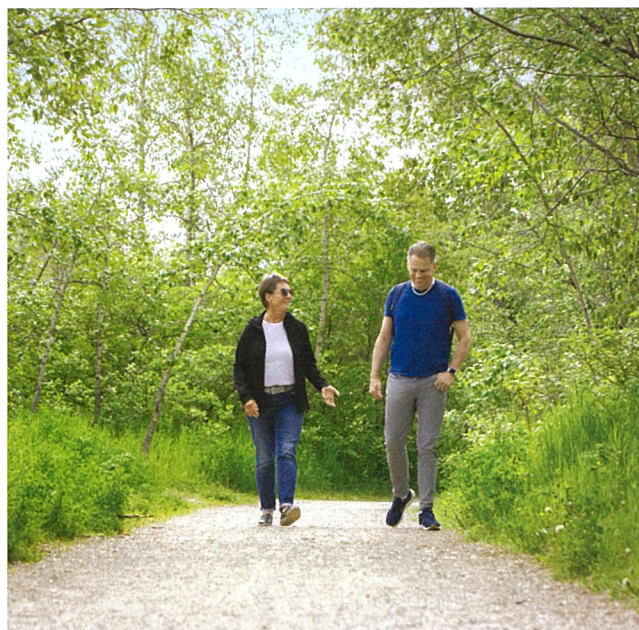
ブルー・カナディアンロッキーの木々の間でため息をつく春
開花する黄金色のポピー
ルイーズ湖のほとりを囲む

この歌を聴いて、私はずっとルイーズ湖を訪れたいと思っていました。10 月の猛吹雪ではあるけれど、ここからわずか 185km の場所にあるというのに行かないわけにはいきません。

私はトランス・カナダ・ハイウェイで、バンフを目指しました。雪はやみましたが、空はまだ暗く、視界は悪いまま。通常であれば 1 時間半のドライブを約 3 時間かけてようやく到着しました。

バンフは、バンフ国立公園内にあるリゾート地です。ホテルにチェックイン後、私は街を歩き、2～3 軒のお店に立ち寄りながら、Chuck's レストランに向かいました。ここで私は、8 オンス（約 230 g）のテンダーロインに挑みます。

翌日、日の出の頃、部屋のカーテンを開けると、金色の光に縁取られた青い空に 2 本のマツの木が高くそびえているのが見えました。その後すぐに、



左:一緒にいるのは、ロータリアンのルアン・ウィットマーシュさん、クレイグ・ストッケさん、コリン・ウィルキンソンさん 中央:カルガリー市内の公共交通網の一部、ライトレールシステム 右上:カルガリーのロータリアンによって一部が作られた長距離のトレイルのそばでリラックスするウィルキンソンさんとストッケさん

トランス・カナダ・ハイウェイに戻り、1時間もしないうちに、私はルイズ湖の木々の間にいて、次の逸話に思いをはせていました。

1882年の夏、経験豊富な23歳のアルバータ州出身の開拓者、トーマス・エドモンズ・ウィルソンは、ナコダ人のガイド、エドウィン・ハンターの案内に従って、ロッキー山脈の深い原生林の間を探索していました。そこに澄んだ湖が出現します。ウィルソンは驚愕します。

「神よ。私はこれを超える美しい景色を見たことはなかった。切り倒されることのなかった周りの森は、青と緑の水面から生えあがるように岸を縁取っていた。1マイル半離れた背景は、白、オパール、茶色の3色に分かれ、氷河は止まり、輝く水と融合していた」とウィルソンは後に回想しています。

ナコダ人はこの場所を「小さな魚の湖」と呼んでいました。ウィルソンは、それをエメラルド湖と名付けました。

その名前は1884年に、カナダの第4代総督の妻であり、ビクトリア女王の四女、ルイズ・キャロライン・アルバータ王女に敬意を表してルイズ湖に変わりました（アルバータ州の名前もこの王女に由来しています）。

カナダ太平洋鉄道もこの頃に開通し、94年には、シャトー・レイク・ルイズ・ホテルが誕生しました。当初1階建ての建物だったこのホテルは現在539室あり、世界中の政治家、映画スター、観光客を魅了しています。湖岸部は、雪と寒さにもかかわらず、思い出に残る写真を撮ろうと多くの観光客が押し寄せています。

その景色はウィルソンが描写した通りで、アクアマリンの水、白い雪原、さまざまな色合いの緑の木々と茶色の山腹が、魔法のように統合され、水面に重なり合っていました。ルイズ湖が、不思議な感覚を呼び起こすことは今も変わりません。

バンフ・アッパー・ホット・スプリ

ングスのミネラル豊富な温泉に漬かり、その日を締めくくりました。雪の積もるモミの木々の森はランドル山の頂上へと続き、ギザギザの山頂は夕日の光にあふれています。

最後の一日は、たくさんの人からの歓迎に包まれました。まず、スタンピードパーク・カルガリー・ロータリークラブ（RC）での例会に、私はクレイグ・ストッケさんのゲストとして招かれました。カルガリーでの2回目の国際大会招致に努めたのは、何よりもストッケさんです。28年前、ストッケさんはロータリーの会員ではなかったため、1996年の国際大会には参加していません。

きっかけは9年前、ローマ滞在中に1人のロータリー会員と出会ったこと。ストッケさんがカルガリー出身であることを知ったこのロータリアンは、96年の国際大会がいかに素晴らしい体験だったかを伝え、カルガリーで再び、国際大会が開かれることがあれば、必ず出席すると約束しました。

ホスト組織委員会のもう一人の共同

カルガリーには、北米のどの都市よりも多くの自転車道や散歩道があります

委員長でカルガリー R C 会員のマーク・スターラットさんと共に、ストッケさんは、もう一度国際大会を地元にもたらそうと活動を開始しました。

ストッケさんとスターラットさんには、熱心なロータリー会員や市民リーダーの多くから支援が寄せられました。毎年 100 万人以上の観光客を集めるカルガリー・スタンピードも一役買いました。

この名高いスタンピードは、ロデオ、パレードなどが行われる恒例の 10 日間の祭典です。「スタンピードの人たちは、大勢の人が集まることにとても慣れています。準備万全のボランティアが何千人もいます。彼らが、カルガリーに再び国際大会を招致する後押しとなりました」とストッケさん。

2017 年、国際ロータリーは公式に、カルガリーが 2025 年国際大会の開催地となることを発表しました。ストッケさん、スターラットさん、その他の人々は、さらに懸命に活動しました。「96 年の国際大会はかなりレベルの高いものだったようです」と認めるストッケさん。「でも、同じことを繰り返したくはなかったのです」。具体的なことは教えてくれませんでした。ストッケさんは一つだけ約束しました。「最高の大会にします。どこを取っ

てもカルガリーならではの、という素晴らしいものにします」

ストッケさんは、例会前にスタンピードの会場を案内しながら、話してくれました。スタンピードパークの外周に位置する例会場は、丸太作りのモダンなキャンピングです。この日、およそ 125 人もの出席者が九つのテーブルを埋め尽くしていました。昼食後、ゲストの公式な歓迎で例会が始まりました。

私は、たくさんのロータリー会員と出会いました。みんな、国際大会という共通の興奮にみなぎっています。その多くが、カルガリーで国際大会を開催する一つの機会を最大限に活用しようとしています。「地域社会から人々を呼び込み、ロータリーと、ロータリーが地域で行っている素晴らしい活動について知ってもらい、たくさんのことを成し遂げたいと思っています。これは、ロータリーの真の姿を示す機会です」とストッケさん。

スタンピードパークでの例会後、私はカルガリー観光局の人たちと会いました。アビバ・コーエンさん、シェリー・ツフト・ショーターさん、フレイジャー・アボットさんの 3 人が、カルガリーでも最高のレストランの一つ、Deane House でのおいしい食事

に招いてくれました。ここは、地元の食材と持続可能な食事を提供する店で、River Café と並ぶレストランの一つです。

しかし、ここでのハイライトは、私を公式にカルガリーに歓迎するための食事前のサプライズのセレモニーでした。「あなたの出身地や外見、宗教や愛するものはここでは関係ありません。本当に大切なことは、あなたが今、ここで歓迎されているということ、あなたがここに属するということが、最高の自分の姿でいられる場所にあなたが来たということです」と、元市長の言葉を引用するアボットさん。

アボットさんは、私にカルガリーを象徴する赤いリボンのついた白いスミスビルト・ハット社製のカウボーイハットをプレゼントしてくれました。私は言われた通りに帽子をかぶり、アボットさんと一緒に伝統的なホワイトハットのおもてなしの誓いの言葉を暗唱しました。これは、「ヤフー」という大きな掛け声で終わります。それからゆっくりと食事に進みました。もし私が蹄鉄ていてつを着けていたとしたら、間違いなく「ジャラジャラ」と音を立てながら楽し気に歩いていたことでしょう。そこに欠けていたのは馬だけです。



River Café ではおいしいデザートが食べられます

カルガリーの味覚

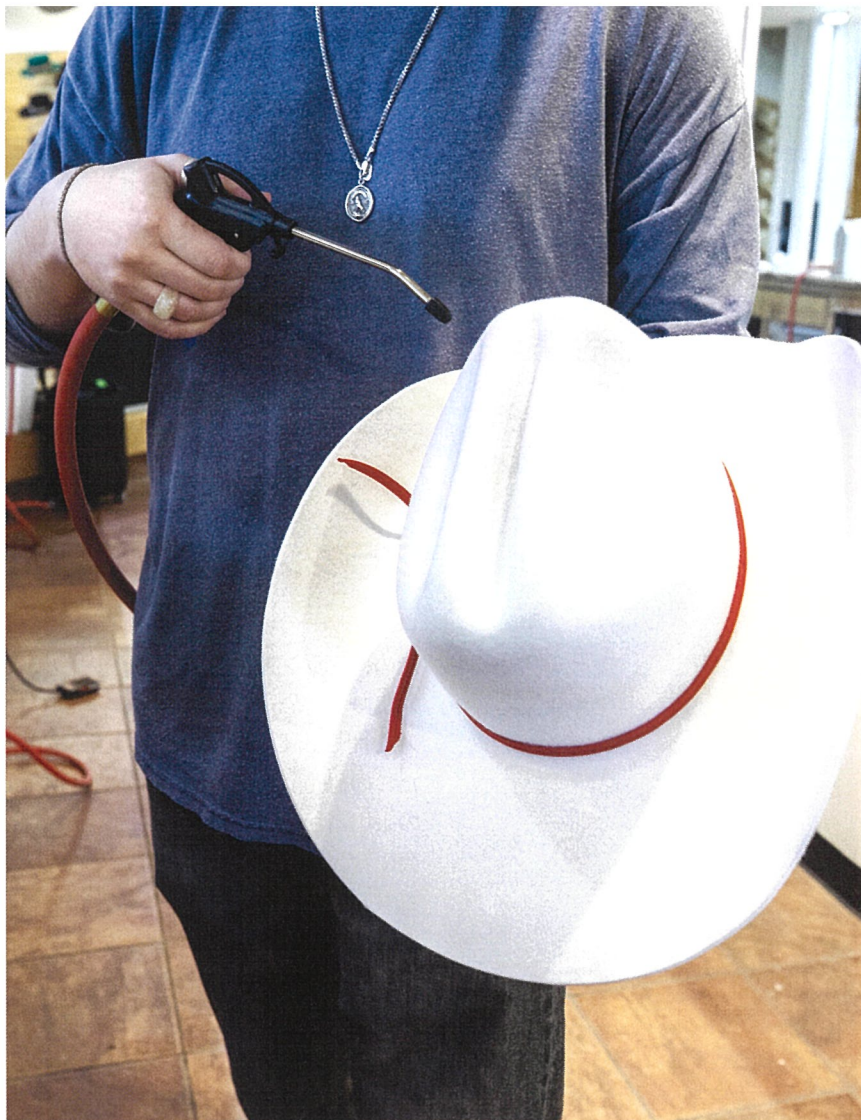
Caesar's, Chairman's, Vintage Chophouse & Tavern などの一流のステーキハウスが証明しているように、カルガリーは畜産地です。またこの街では、最も舌の肥えた人たちをも魅了するさまざまなダイニング体験ができます

○

エルボウ川のほとりにある Deane House とプリンス・アイランド・パークの River Café は、才能多き美食家、サル・ハウエルによって所有・運営されています。それぞれ歴史的な雰囲気と緑豊かな環境で思い出に残る食事を体験できるでしょう



スミスビルト・ハットに立ち寄るカルガリースタンピードRCの
スティーブ・マクドノー元会長と、スタンピードパーク・カルガリー
RCのウィルキンソン会員。右：カルガリー特製の白い帽子が
スチームで手入れされています



2025 年ロータリー国際大会にぜひご参加く ださい。12月15日までにご登録いただくと、 割引料金が適用されます



- 現代的なサパークラブ、**Fortuna's Row** では、アルバータ州の平原で、中南米の雰囲気、文化、料理を楽しむことができます
- カナダ全土の新鮮な料理を体験するには、スティーブン・アベニューの歩行者専用モールにある **Klein/Harris** を訪れてみましょう
- スティーブン・アベニュー・プレイスの高層階 (40 階) にある **Major Tom** では、その絶品料理とともに天国のような景色を満喫できます
- 2022 年にカルガリーの新しいベストレストランの一つとされた **Orchard** は、カジュアルでエレガントな雰囲気の中でアジア・地中海料理を提供しています

- 活気に満ちた 17 番街にありながら太平洋の雰囲気を持つ **Lulu Bar** では、近隣のカリフォルニア州やブリティッシュコロンビア州、遠いハワイやアジアの影響を受けた料理を楽しめます
- ベルトライン地区のセントラル・メモリアル・パーク (カルガリー最古の公園) 内にある **Park by Sidewalk Citizen** は、ランチに最適で、サンルームスタイルの空間で食事を楽しめます
- セレブシェフのダレン・マクリーンが日本風の料理を提供する **Shokunin** は、カナダの 100 のベストレストランのリストに常に入っています

People of action around the globe

世界中で活躍する「世界を変える行動人」

By BRAD WEBBER

『ROTARY』10月号から

10月24日の世界ポリオデーを迎えるに当たり、ポリオ根絶に向け、ロータリアンとその活動のパートナーたちが行った事例をご紹介します。

併せて、クラブによる活動の記録をお知らせください。

www.endpolio.org/ja/register-your-event

フランス

ロータリーのポリオ根絶活動で寄付を募るため、フランス南東部でロータリアンと友人たちが、恐竜の着ぐるみを着て走るレースを開きました。第1730地区が主催したこの恐竜レースは昨年10月、何千人もの来場者があるフレジュス国際たこ揚げ大会に合わせて開催。観客は着ぐるみでヨタヨタと走る出場者に賭けることができ、大変盛り上がりしました。「ロータリーのポリオ根絶活動のイメージを一新させるアイデアが浮かんだ」と、直前ガバナーでニース・ロータリークラブ（RC）のディン・ホアン・トランさん。「観客を楽しませ、活動のPRにもなりました」と言います。また、地区が「約4万5,000ドル（約651万円）をポリオプラスに寄付しよう」と目標を設けたところ、71クラブ中40クラブ以上が参加し、ポリオ根絶への士気も上がりました。



24 年超

ヨーロッパのポリオ根絶
宣言からの経過年数

南アフリカ

ニューランズRCはポリオ根絶の必要性を訴えようと、会員を集め、地域の名所、テーブルマウンテンを背景に、世界ポリオデーの記念撮影を行うことにしました。元会長のジェイニー・ボールさんは、国際ロータリー（RI）のウェブサイト内、ブランドリソースセンターの「END POLIO NOW（ポリオ根絶）推進用資料」を使って、自撮りフレーム用のアートワークを作成。「Make Polio History」というFacebookイベントを立ち上げました。

ところが、撮影当日は濃い霧。「それでも精いっぱい楽しもうとおしゃべりしているうちに、太陽が顔を出してくれました」とボールさん。彼女は「focus on the finish（ゴールに焦点を当てる）」をスローガンに会員を鼓舞。イベント後もこの自撮り用フレームは各地で使われ、クラブからクラブへと広まっています。



8,000 万回

2022年にアフリカ南部で行われたポリオ予防接種の回数

アメリカ



ペンシルベニア州のスクラントンRCは、地域のダンモア高校の生徒たちにポリオについて学ぶ機会を提供しています。生徒たちは、昨年の世界ポリオデーで、同クラブと地区が開催した、ポリオと医療政策に関するシンポジウムでのインタビューを基に、ドキュメンタリーを制作。同校教諭のアラン・ロッシュさんは映像制作に約40人の生徒を集め、地域のポリオサバイバー3人へのインタビューなども行いました。「目の前にある歴史を実感するのは難しいことです。これが教科書であれば1～2ページ、スライドショーなら1枚で終わってしまう出来事です。ポリオを単に学ぶことと、この病の影響を受けた人と直接話すことは、まるで次元が違う体験です」とロッシュさん。この活動は、生徒たちにとっても目からうろこの経験になったそうです。なお、作品は今年10月にスクラントンRCが開催する世界ポリオデーのイベントで放映される予定です。

1894年

アメリカで初めて
ポリオが流行した年



日本

東京三鷹RC会員の宮崎陽市郎さんは、ポリオ根絶の募金活動のため、2022年10月に日本縦断の自転車旅行を敢行。23日間で2,750kmを走破しました。イタリアのロータリー地域雑誌からのインタビューに「行動しなけりゃ意味ないね!!」と語った宮崎さん。これは、翌23～24年度に第2750地区のガバナーを務めた際のスローガンにもなりました。挑戦中、各地のガバナー、ロータリアンらが声援を送り、熱心なサイクリストでRI事務総長を務めるジョン・ヒューコさんから応援のビデオメッセージも。寄付額は最終的に約2,000万円に達しました。※『友』2022年12月号横組みP16～17に関連記事

7位

日本の国民1人当たりの
自転車保有台数の世界順位



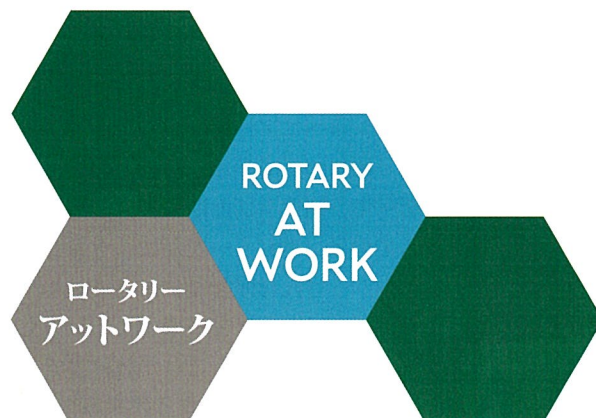
22,000人

「Zoo of Love」のぬいぐるみを
受け取った子どもの人数



コロンビア

ヌエボメデジンRCのソニア・ウリベさんと、夫でメデジン・ヌティバラRCのアルベルト・ロンドーニョさんは、共に第4271地区の元ガバナーです。二人は重い病の子どもたちを励まし、ポリオ根絶のための資金を集めるため、「Zoo of Love(愛の動物園)」と名付けた、ぬいぐるみの販売を始めました。キリンやトラなどの動物が、END POLIO NOWのロゴ入りシャツを着たデザインで、2018年の開始以来、寄付としての売り上げは約55万ドル(約8,000万円)に達しています。子どもたちへの贈り物としてだけでなく、旅行に連れていくことで、「ロータリーブランドを広める大使としての役割を果たしています」とウリベさん。夫妻は病気の子どもたちを支援する財団も運営しています。



タイ・コーンケーン市に防火衣寄贈へ

京都北東RC

第 2650 地区・京都府

当クラブは京都市、同市消防局の全面的な協力を得て、タイ・コーンケーン市に防火衣 20 セットを寄贈しました。

当クラブとコーンケーン市の関わりは 1998 年、現地の姉妹クラブ・ケンクンロータリークラブ（RC）と共同で行った青少年麻薬汚染撲滅事業に始まります。2002 年からは、遠距離を歩いて通学する市内児童へ 1 万台の新品自転車を贈る「タイ国 1 万台自転車プロジェクト」を 2 年にわたり実施するなど、同市への支援を続けてきました。

今回の事業の発端は 06 年。ケンクン RC と現地の子どもたちの識字率向上を願って「Library For Kids Project」を開始したことにあります。これは本や書架の寄贈の他、先生に対して読み聞かせのトレーニングを行う事業で、当初は 2 クラブの共同事業で開始。途中で石川県の金沢百万石 RC、韓国の南光州 RC が参加。現在では日本、タイ、オーストラリア、アメリカ、台湾、マレーシア、インドネシアのクラブが加わり、通算 602 校、約 14 万 6,000 冊を寄贈したプロジェクトとなっています。

15 年 9 月、私たちは図書の贈呈式のために現地を訪問。そこで市長より消防車寄贈の打診を受けました。コーンケーン市は急速に都市化が進んでいる半面、インフラが整っておらず、消火栓がないため、水槽付き消防車の配備が喫緊の課題であることを知らされました。

帰国後、当クラブは京都市消防局と協議。その後、水槽付き消防車 2 台の廃車が決定、17 年 6 月に京都市からコーンケーン市へ寄贈という形が整い、当クラブはその橋渡し役を務めることになりました。

今回、防火衣寄贈はその第 2 弾。要望

を受けた当クラブが、京都市消防局などにかけ合った結果、防火衣を無償で譲り受けられることになりました。防火衣はケンクン RC を通じてコーンケーン市に寄贈します。

7 月 31 日に京都市役所で開かれた贈呈式では、副市長、市消防局長らが出席。当クラブの渡邊淳司会長へ防火衣上下、防火帽、手袋各 20 セットが手渡されました。

これらの防火衣は取りまとめ役のケンクン RC の受け入れ準備が整い次第、発送。到着後に改めて現地でコーンケーン市への贈呈式が行われる予定です。



国際理解のためのワークショップ

東京米山ロータリー E クラブ 2750 / 東京米山友愛 R C

第 2750 地区・東京都

東京米山ロータリー E クラブ 2750 と東京米山友愛 R C の共同事業として、7月6日、都立保谷高校で「国際理解のためのワークショップ」を行いました。

同校は 2020 年の創立 50 周年を機にグローバル人材の育成に注力しており、今年 10 月には台湾への海外修学旅行を予定しているとのこと。そこで、両クラブとも米山学友など多国籍の会員で構成されていることから、世界の多様性を実感してもらおうと、今回の企画を立ち上げました。事前に地区にも呼びかけたところ、講師役などで現役の米山奨学生やロータリアンら総勢 56 人の協力があり、高校 2 年生約 320 人との大交流会となりました。

当日のワークショップは、講師と生徒が少人数グループに分かれて実施しました。台湾出身の米山奨学生・胡元寧さん（＝写真）は修学旅行先の台湾でのコミュニケーションが図れるよう会話講座を開き、ウクライナ出身の奨学生は民族衣装で参加するなど、生徒は交流を通して文化の違いを肌で感じたり、講師の話に驚嘆の声を上げたり、一緒に記念撮影をしたりと、楽しい時間となりました。

講師の中には、日本の高校生と初めて交流したという人



もいて、「自分の体験や話を真剣に聴いてもらえた」とうれしそうに語っていました。教員からは「生徒たちの目つきが真剣で、普段の様子と違う」との声。生徒の保護者にも授業を公開し、ロータリー活動の P R にもなりました。

交流後はロータリー側の交流を図りつつ、講師役と情報を交換して課題抽出。世界で活躍する人材の育成に協力できるよう、この事業を続けていけたらと願っています。



生徒の居場所発見に協力

大阪西 R C

第 2660 地区・大阪府

N P O 法人 FAIR ROAD は、大阪市内の中学高校を場に、さまざまな事情で生きづらさを抱える生徒の居場所づくり事業を行っており、当クラブはこの活動を支援しています。7月18日には支援校の一つ、府立大正白稜高校内の「わたしカフェ」の利用者を対象に、京セラドーム大阪での職業体験、ホテルグランヴィア大阪での若手パティシエの講演と実演に招待。職業への意識を啓発した他、料理を通して交流を図りました。計 5 時間以上の長丁場でしたが、生徒からは大好評で、クラブとして事業の継続に期待します。

学校祭でポリオ根絶募金

弘前南高校 I A C

第 2830 地区・青森県

当クラブは学校祭で恒例になっている募金活動を、今年度はポリオ根絶を目的に実施。正確な知識を得るためにロータリアンに協力を仰ぎつつ、ポリオの情報をまとめた手書きのポスターなどを制作し、準備を進めました。7月19日の学校祭当日はインターアクトのたすきをかけ、大きな声で呼びかけ。校内を移動して積極的に活動したこともあってか、例年より多い募金額となりました。達成感はもちろん、多くの人にポリオの歴史と現状を知ってもらうことができました。



木の工作で「ふれあい」を創出

名古屋南 R C

第 2760 地区・愛知県

当クラブは 8 月 3 日、名古屋市内の木材会館で、市内の養護施設の子どもたちを対象に、今年度の地区補助金を活用した木工教室を開催しました。

教室開催に当たって、名古屋市の子ども青年局を通して参加者を募集したところ、予想以上に申し込みがあり、市内の六つの養護施設から 43 人を招いて実施することになりました。

当日はまず、伊東万樹也会長や鈴木喜雄幹事らが、クラブの奉仕活動やポリオ根絶をはじめとしたロータリーの社会貢献活動について P R。続く木工教室では、スギの板材を使ったアクセサリボックスの製作を目標に、丸太切り体験コーナー、ヒノキのブロックを使った積み木遊びも実施。会員たちがそれぞれの作業を手伝ったり、話しかけたりすると、子どもたちもそれに応えて、屈託のない笑顔や明るい声で場が大いに盛り上がりました。一生懸命工作する姿は、とても輝いていて、彼らの未来には限りない可能性があるように感じました。私たちも事業を通して、有意義な経験をすることができたと思います。



教室に参加した市職員からは「子どもたちがすごく楽しそうで驚きました。素晴らしい事業ですね」との評価を頂きました。

今回の事業を通して、地域社会の大人たちがさりげなく、温かく、子どもたちを支えていく必要性を実感しました。



笑顔いっぱい 児童福祉施設での夏祭り

海南 R C

第 2640 地区・和歌山県

7 月 27 日、福祉型児童発達支援センター「若竹園」で、夏祭りを開催しました。若竹園は 50 年以上の歴史を持つ、地域に根差した障害児施設です。夏祭りは当クラブの有志の支援から始まり、今ではクラブの社会奉仕事業として定着、もう 30 年以上続いています。ヨーヨー釣りなどの遊び場を設け、子どもたちは踊りにも挑戦。その楽しげな様子に、会員たちは夏の暑さを忘れるほど元気をもらい、有意義な一日となったことを実感しました。

夏祭り運営サポートで コミュニティー充実へ

越谷北 R C

第 2770 地区・埼玉県

8 月 4 日、地元の子ども食堂「コミュニティ食堂なないろりんご」主催の夏祭りに会員総出で参加し、会場運営のサポートをしました。祭りでは、子どもたちが店長となってさまざまな店を運営。地域の人たちも楽しみながら参加していました。この活動を通じて子ども食堂の存在を知ってもらうことで、支援の輪が広がり、私たちのコミュニティーがますます充実したものとなることを期待しています。



若さと元気と活気あふれる 『友』購読クラブ

創立：1984年9月14日 会員数：12人
例会日：第3水曜日 19:00～21:00
土曜日 不定期
スポンサークラブ：富良野RC
(第2500地区 北海道)



富良野RACは、平均年齢23歳のフレッシュさ、仲の良さが売りのクラブです。フットワークの軽い会員が多く、地区外の例会や行事によく参加しています。

目玉の活動は、市内小学校学校学級新聞コンクールです。小学生が授業で作った新聞を市立図書館に掲載し、市の教育委員会教育長などを招き、毎年、審査会を実施し表彰します。元々はスポンサークラブである富良野RCが始めた事業。それを受け継ぎ、今年度で12回目。審査の点数入力方式を紙からスマホに変更して集計しやすくするなど、ブラッシュアップを続けています。

会員同士の親睦を図るための例会も工夫。環境に触れるラフティング例会、昨年度から始めた「持ち込み例会」では、会員の企画力向上を目的に、担当会員が、企画の準備から当日の運営までを全て行い、健康促進と交流のためのミニバレーボール、災害時の対策を学ぶ例会などを実施しました。また、活動拠点の富良野市を飛び出す移動例会、地域を知るための北海道ボールパークFビレ

ッジの見学、世界ポリオデーに合わせ、ポリオの勉強後のチャリティーボウリング、他地区合同企画「能登半島地震災害支援募金活動」実施(『友』2024年5月号横組みP21参照)など、私たちならではの活動と自負しています。

全国のロータリーの会合にお邪魔するので、もっとロータリーについて知識を深め、クラブに応用

できるよう、『ロータリーの友』の定期購読を始めました。

実は、会員数が1人になるなど危機があるたびに、会員の努力、スポンサークラブの協力があり、今までバトンが繋がってきました。諸先輩たちの思いを引き継ぎ、地域のことを第一に考え、今後も発展し続けられるよう頑張ります。

(富良野RAC 西田脩人)

POINT

ロータリーを知る
ため『ロータリー
の友』を定期購読

Let's Collaborate

富良野RACウェブサイト



Instagram



あなたの地域で活躍するローターアクトクラブの取り組みを、編集部 hensyu@rotary-no-tomo.jp までお知らせください。

NEW GENERATION

ニュージェネレーション

縁あってロータリーに触れた若者たち。彼らはいま、何を思い、どんなことに挑戦しているのでしょうか。

子どもは国の宝

ローターアクトー 川村 祥恩^{しょうん}



私は現在、大学院で幼児教育を専攻しています。幼児教育の現状を知るために、保育の現場でアルバイトをしながら日々、幼児や彼らを取り巻く環境と向き合っています。大学院で学んだことを実際に試したり、子どもの姿を見て理解を深めたりできるので、い

つも刺激を受けています。

学部時代、講義で学んだ社会福祉の実態に心を打たれた私は、子どもに対する支援ができないかと考えました。そして、2023 - 24 年度に地区ローターアクト代表に

就いた際、子ども支援事業に注力しました。微力ながら、さまざまな課題を抱える子どもを支援する第一歩になったと思います。また、この事業によって当地区で子ども支援の輪が広がったことを実感しました。

私の好きな言葉の一つに「子どもは国の宝」という言葉があります。確か、NHK大河ドラマ「西郷どん」で耳にしたフレーズだったと思います。私は日本が発展していくに当たり、子どもは無限の可能性を秘めており、とても大切な存在であると思っています。また、子どもを支援することで、この国の未来が紡がれていくと考えています。

この想いを実現するために、これからも子どもの支援や幼児教育に携わり、知識を蓄えて、多くの方々と関わりながら、奉仕の輪を広げていけるように日々、頑張っていきたいと思っています。

愛知県出身。名古屋芸術大学RAC会員、2020-21年度会長、23-24年度第2760地区ローターアクト代表。趣味はドライブ、喫茶店巡り、トーク。

生涯、ローテックスとして

ローテックス 東 篤史

私の所属する第2570地区では、青少年交換プログラムに参加した派遣生は帰国後4年間、青少年交換委員会と連携して運営に携わることが義務です。そのため、派遣準備の1年間、派遣生としての1年間を含め、計6年間にわたる長期的教育プログラムとなっています。

ブラジルでの派遣期間に得たものはもちろん貴いものですが、プログラム運営に関わった4年間は、社会生活を送る上で非常に意義のあるものでした。しかし、期間が区切られているので、任期終了時に「今日でローテックスを引退します」という言葉とともに、プログラムやロータリーとの関わりを終えてしまう人が多く、せっかくの出会いをたった数年で終えてしまうのはもったいないと、改善を模索していました。

2023年7月、私は任期終了後の交流・活動の場とし

て「第2570地区青少年交換学友会」を創設しました。参加者はまだ少ないですが、徐々に充実した活動を増やせたらと考えています。他地区のローテックスも大歓迎で、希望があれば当地区で活動できる環境づくりを検討しています。

地区学友会会長としての目標は、他地区と交流する機会を多く設け、同じローテックスとして、さまざまな活動を共にしていくことです。ロータリアンと派遣生・来日学生の架け橋としてローテックスが活躍することで、これからもこのプログラムが続いていくよう、生涯活動していきたいです。

埼玉県出身。2015-16年度第2570地区青少年交換学生としてブラジルに派遣。19-20年度地区ローテックス会長。現・地区青少年交換学友会会長。夢はギター製作家を目指す妻との工房運営。



●皆さんの周りの若い人をご紹介ください！ ロータリーのプログラムに参加したことのある10～30代までの若者（現役、学友どちらも可）を『友』編集部にご推薦ください。hensyu@rotary-no-tomo.jp

例会中は解かないでね!

難易度 ★★★★★

パズル制作／ニコリ

		1		4		9		
		2			8			1
			7				8	
	2					4		
3				8				5
		8					7	
	1				7			
4			5			3		
		5		6		2		

ルール

- ①まだ数字の入っていないマスに1から9までの数字のどれかを1つずつ入れましょう。0（ゼロ）は使いません。
- ②タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（9つあります）のそれぞれに、1から9までの数字が1つずつ入るようにします。

問題

二重枠に入った数の合計はいくつでしょう？

答え

いつでもどこでもラジオ体操
アタマの次はカラダを動かせ!



毎月5人に
体操ブービーを
プレゼント!!

◆パズルdeロータリー応募方法◆ 郵送での応募は郵便はがきに①「10月号の答え」②名前 ③所属クラブ ④今月号で印象に残った記事とその感想をお書き添えの上、〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階（一社）ロータリーの友事務所P係までお送りください。④に関する回答は、「声」欄（縦組み）に掲載させていただくことがあります。会員以外のご応募も大歓迎です。

WEB応募は下記のURL、または右の2次元コードから。
rotary-no-tomo.jp/puzzle.php



◆締め切り◆ 2024年11月11日（月）必着（当選発表は1月号）

●パズルdeロータリー（7月号）の答えと当選者は、横組みP42に掲載しています。

詰め将棋



出題 日本将棋連盟
高野秀行 六段

ヒント 角が主役
7手詰め 5分で3級

●詰め将棋の解答は、横組みP42に掲載しています。
（※詰め将棋にはプレゼントはありません）

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							王	王	一
						王		王	二
				角		王			三
					竜		王		四
							角		五
									六
									七
									八
									九

【持駒】なし



*アメリカ・エバンストンは、国際ロータリー（R I）世界本部の所在地です

震災からの復興に取り組むトルコでロータリーが支援を継続

2023年2月のトルコ・シリア地震発生以来、ロータリーは被災地域を支援するために400万ドル以上を支援してきました。シリア国内にはロータリークラブがなく、トルコ限定での活動となりましたが、被災者のため、さまざまな支援を行いました。

地震発生後、ロータリーは即座に災害救援基金を設立し寄付を集め、総額約140万ドルのグローバル補助金も活用。「会員は、被災状況を目の当たりにするとすぐに駆け付けて支援を提供してくれた。実に機敏かつ迅速で、それが多くの人の心を支援へ向かわせました」とトルコ・イスケンデルン・ロータリークラブ（RC）の会員、セジン・アシオウルさんは話します。

緊急かつ長期的ニーズへの支援

緊急支援物資には、搜索救助車、病院用品、テント、寝袋、エアコンなどが含まれました。トルコのロータリーは、政府が輸送用コンテナを利用した住宅を3カ所に設置するのに協力し

ました。高品質で手頃な価格のコンテナの入手が困難な中、会員が、信頼できる会社を紹介。おかげで、コンテナを高値で購入せずに済みました。

会員はさらに、二つのコンテナ住居エリアに水処理プラントを設置。提供される水はペットボトルの水と同じ水質です。この他、移動式の歯科クリニック、仮設教室、パソコンの寄贈などが行われ、ロータリーは被災者の方から大変感謝されています。

農業用品や農機具、家畜も重要な寄贈品です。農業従事者がジャガイモを収穫したり、家畜の飼料を作るための機械を提供したりしました。また、種、苗、苗木、受胎した牛も寄贈され、生活の早期回復に役立っています。

また、病院に小児用の心エコー装置を提供し、教育研究病院では破損した手術室の機器を交換することで、被災後行えなかった脊髄や脳の手術が再び行われるようになりました。

傷ついた動物を救うためのクリニック

地震の後、傷ついたり捨てられたりした動物を助けるため、第2420地区は動物クリニックを設置し、治療や手術のための機材を提供しました。クリニックのスタッフは、動物たちの不妊去勢手術や傷の手当てを行い、狂犬病などの予防のためにワクチン接種を実施。また、会員は、動物たちをクリニックに運ぶための車も寄贈しました。

このクリニックの名称はプロテオ。メキシコから寄贈され、がれきの中で生存者を搜索中に死んだ救助犬のProteoにちなんで名付けられました。

-Etelka Lehoczky

今後のR I 国際大会

2025年6月21～25日

カナダ・カルガリー

（以下、予定）

2026年6月13～17日

台湾・台北

2027年6月5～9日

アメリカ・ハワイ州ホノルル

2028年

未定

2029年5月26～30日

アメリカ・ミネソタ州ミネアポリス

2030年5月25～29日

アメリカ・イリノイ州シカゴ

統計

全世界ロータリアン総数

1,155,898人

クラブ数 36,578 クラブ

地区数 515 地区

国と地域 200 以上

ローターアクト会員数 116,128人

クラブ数 8,814 クラブ

国と地域 160 以上

インターアクト会員数 345,230人

クラブ数 15,006 クラブ

国と地域 150 以上

2024年8月19日現在

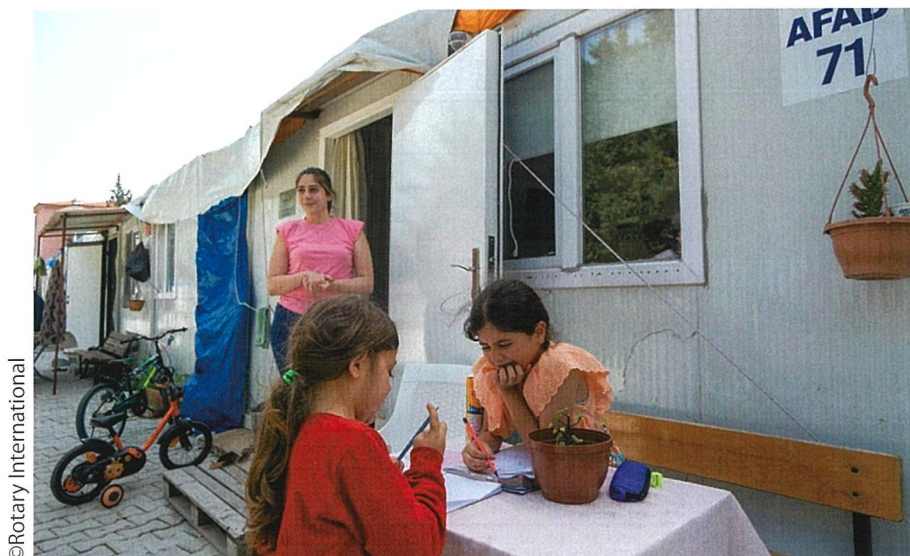
ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp

野生型ポリオウイルスによる症例数

掲載ウェブサイト：

GPEI（世界ポリオ根絶推進活動）
polioeradication.org/polio-today/polio-now/this-week/（2024年8月28日現在）

		2024年	2023	2022	2021
常在国	パキスタン	16	6	20	1
	アフガニスタン	17	6	2	4
非常住国	モザンビーク	0	0	8	0
	マラウイ	0	0	0	1
世界合計		33	12	30	6



第2420地区と第2440地区が設置したコンテナ住居に滞在する避難した人々



マーク・マローニー財団管理委員長(左)が、ジョン・セバー氏の妻ジェレインさん(中央)に、「ポリオのない世界を目指す奉仕賞」を授与しました

RI 指定記事

ロータリー財団管理委員長からのメッセージ

ポリオ根絶の英雄をしのんで

10月24日の「世界ポリオデー」は、活動の進展を祝い、改めてポリオ根絶に向けて取り組むことを誓う日です。また、この活動を支援し、推進してきたロータリーの会員に敬意を表する機会でもあります。その代表的人物こそ、ジョン・セバー氏でした。

今年4月に92歳で逝去されたセバー氏は、アメリカのメリーランド州ポトマックRCに所属していました。アメリカ国立衛生研究所の感染症専門家だったセバー氏は1979年にポリオ根絶をロータリーの世界的な目標とすることを提言。フィリピンでの全国的な予防接種キャンペーンとして始まった活動が世界に拡大することになったのです。

セバー氏の数十年にわたる活躍がなければ、ロータリーは今の成果を達成できたとは思えません。8月にはご遺族に、「ポリオのない世界を目指す奉仕賞」ならびにセバー氏の名を印したクリスタルの認証品を贈呈しました。

セバー氏が立ち上げを支援したポリオプラスは、ロータリーで行動計画を実践する際の模範となり、多くの人々のボランティア精神と支援によって、1988年以降のポリオ症例数の減少率は99%を超えました。

目標までの道のりは予測不能で、後退することもあります。しかし、私たちはまた立ち上がります。今年、パキスタンとアフガニスタンでポリオ症例が増えたのもその一例です。マラウイ

とモザンビークでは、パキスタンからの流入で引き起こされた野生型ポリオウイルスがなくなり、変異型ポリオウイルスの症例も減少しました。ロータリーとパートナー団体は柔軟な対応を続け、長期目標を掲げ、新しい方策を発展させています。

より強固な医療制度と地域社会を備えたポリオのない世界を実現することは、人類のためになるだけでなく、次世代のための賢明な投資でもあります。これは、ロータリーから世界への最大の贈り物となるでしょう。セバー氏が先導してきた道は、数え切れないほどの人々が後に続いています。私たちはみんなでこの物語を紡いでいます。

皆さまのご支援で、今年の世界ポリオデーは史上最大規模となります。皆さまからの寄付に、ビル&メリンダ・ゲイツ財団が倍額を上乗せし、寄付金額は3倍になります。クラブや地区でポリオプラス・ソサエティに参加したり、ソサエティを立ち上げたりすることもできます。ポリオが歴史上2番目に根絶される疾病となるようにできることを広めましょう。

次世代の人々がポリオのない世界で生きるため、今できることがあります。世界の子どもたちへの約束を果たし、ポリオを永久に根絶しましょう。

MARK DANIEL MALONEY

2024-25年度ロータリー財団管理委員長

RI 指定記事

カルガリー国際大会

世界平和に向けた大会



カルガリー国際大会に参加することは、平和を支援する手段の一つとなります。友愛の家を訪れ、仲間の会員に会い、クラブの懸案を学ぶことで、国際的な理解が深まります。またピースパーク内にある平和の木につるされた折り鶴に願いを書いて平和を広めましょう。

ロータリーは創設当初から平和を推進してきました。国際大会を平和構築の象徴として開催し、行動への意欲を喚起するような著名人の講演を行ってきました。

カルガリーには、その名も「ピース

ブリッジ」という赤い鉄骨の特徴的な橋があり、毎日何千人もの地元の人々や旅行者が徒歩や自転車で行き来し、立ち止まって撮影をしています。この橋の名前には、戦没軍人への追悼の意が込められています。

シンガポール国際大会では、平和のためのロータリー行動グループが友愛の家内で提供したピースパークが評判を呼びました。より平和な世界に貢献するために、2025年6月21～25日はカルガリーへお越しください。

国際大会の詳細・登録はこちら
convention.rotary.org/ja

輝く若者をご紹介します! — NEW GENERATION

ロータリーのプログラムに参加している
(参加経験のある) 若い人たちを紹介
します。皆さんの周りで輝いている
若者をご推薦ください。
送り先はメールで編集部まで。

hensyu@rotary-no-tomo.jp



パズルdeロータリー 7月号の答え

正解は下記の通り

① ねぎ ② たぬき ③ ぼたもち

④ ウタゴエ ⑤ ゴゴシチジ ⑥ サラマワシ

応募総数 183人 正解者 181人

当選者(敬称略・順不同)／笹木秀雄(大阪中央RC)、野澤秀夫(東京東村山RC)、
家村豊(京都八幡RC)、國崎忠臣(佐世保南RC)、陣内弘子(多久RC)

◆ P39 詰め将棋の答え ◆

▲1四角△2二玉▲3一角成△同玉
▲3三竜△同銀▲3二金まで
7手詰め

この問題に関するお問い合わせは、往復
はがきに、お名前、ご住所、電話番号を
お書き添えの上、〒151-8516 東京都渋谷区千駄ヶ谷2-39-9(公社)日本将棋
連盟普及課ロータリーの友詰め将棋係ま
でお送りください。

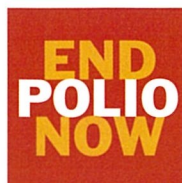
	5	4	3	2	1
一			王	将	皇
二			金		歩
三			銀		
四					角
五					

【持駒】なし

◆ 解説 ◆

大駒の力をいかに引き出すかが、
問題を解く鍵となります。初手▲
4二角成は△2二玉で足りませ
ん。もう一枚の角を▲1四角と出
るのが好手。△2三金は▲4二
竜まで。△2二玉に▲3一角成～
▲3三竜が好手順で▲3二金の
頭金で詰み上がりとなります。

世界ポリオデー(10月24日)にちなみ、ロータリーのポリオ根絶活動の写真を募集します。活動のワンシーンをカメラで切り取って、下記ウェブサイトへ送ろう。



世界ポリオデーイベント

フォトコンテスト

世界に伝える

地域社会に伝える

国際ロータリー zone1A,2,3

日本の全クラブが対象です。
PBグループを含む



撮影期間延長!

ポリオ根絶活動の写真を大募集!

■応募締め切り

2024年11月25日

■応募資格

ロータリアン、ローターアクト、インターアクト、米山奨学生など、ロータリーのプログラム参加者。プロ・アマ問わず。

■審査

第53回ロータリー研究会会場で展示、審査する

■応募可能な写真の撮影時期

2023年12月1日～24年11月24日まで

■応募方法

詳細については下記ウェブサイトをご覧ください。
www.endpoliorotary.club/2024photocontest



■主催

国際ロータリー zone1A,2,3のロータリー公共イメージコーディネーター(RPIC)、ロータリー財団地域コーディネーター(PRFC)、ポリオ根絶コーディネーター(EPNC)、ロータリーコーディネーター(RC)、恒久基金/大口寄付アドバイザー(EMGA)

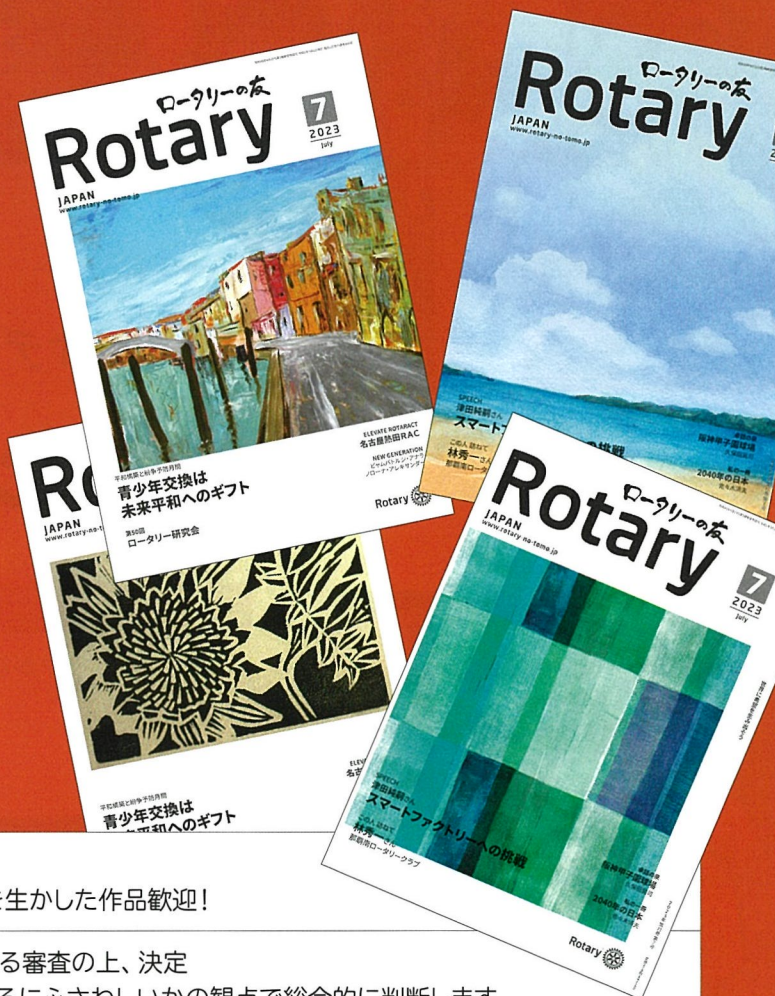
2025-26年度『ロータリーの友』



表紙を飾る絵 大募集!

ロータリアンの絵が表紙に!
バラエティーに富んだ絵で
読者の多様性を表現します。
画伯ロータリアンの皆さま、
絵で『友』を彩りませんか?
表紙で交流しませんか?
ふるってご応募ください!

※デジタルデータでの応募をお願いします



■応募規定

テーマ	テーマは自由 ※ご当地の風景やふるさとなど、地域性を生かした作品歓迎!
審査方法	ロータリーの友委員会・編集部での厳選なる審査の上、決定 ※作品の優劣ではなく、『友』の表紙を飾るにふさわしいかの観点で総合的に判断します
応募資格	ロータリアン、ローターアクター、ロータリープログラムの参加者・経験者（ロータリー財団奨学生、米山奨学生、青少年交換学生など。ただし未成年者は除く） ※国内在住者に限る
応募要件	油絵・水彩画・版画・グラフィックアートなどの平面作品（画法・画材不問）で郵送可能な作品 ★作品の長辺は70cm程度（目安として油絵の場合は15号、ポスターでB2サイズ以内）であること ★デジタルデータでご応募ください。手描き作品の場合、入選者は作品を郵送いただきます（額はガラス不可。アクリルはOK） ※ 応募者本人が描いた、未発表のオリジナル作品に限る（公募展などで入選した作品・応募予定の作品は不可。『ガバナー月信』『クラブ週報』などロータリー関連の媒体で発表されたものは可。個展やクラブの同好会で発表された作品は可） ※ 工芸品・刺しゅう・押し花・パッチワークなどの立体作品、コラージュ、書は応募不可 ※ 生成AIを使用した作品は応募不可 ※ 応募作品は、第三者から所有権・著作権・肖像権・商標権などの一切の権利について異議を主張されない作品に限る ※ 制作年は問わない ※ 応募規定に違反していたことが判明した場合、入選は無効

応募方法	『友』ウェブサイト「表紙募集」https://www.rotary-no-tomo.jp/cover.phpにアクセスし  下記いずれかの方法で「画像データの送信」および「必要事項への記入」（作者情報・コメント・応募規定への同意など）をもって応募とします。データは作品現物をスキャニング、またはデジタルカメラ、スマートフォンで撮影したもの（jpeg、psd、ai、pdf など、ファイルサイズ10MB以内）をお送りください。 フォーム投稿 の場合 以下 Google フォームに必要事項を記入の上、画像データをアップロード https://forms.gle/bfVrLoVyBa8jngQv9  メールで送付 の場合 2025-26cover.pdfにご記入の上、画像データと共に添付で送信 宛先 cover@rotary-no-tomo.jp ※ 作品の撮影は額縁を外し、逆光を避け、フラッシュを使わずに絵の真正面中央からお撮りください ※ 「Google フォームの自動返信メール」または「受領確認返信メール」をもって受領とさせていただきますが、データや必要事項に不備がある場合は対象外といたします ※ 応募段階での現物の郵送、直接の持ち込みは、一切受け付けておりません
締切	2025年2月28日（金）
点数	1人1回1点まで ※複数応募はお控えください
発表	『友』2025年7月号ならびに『友』ウェブサイト（2025年6月下旬掲載予定）に、入選者の氏名および掲載月を発表します。入選者には事前にご連絡を差し上げます
その他	注意事項 ・ 応募フォーム送信時に応募規定・著作権に関する同意をお願いします。送信時点で、各項目に同意されたものと見なします ・ 作品応募により生じたトラブルに対し、『友』は一切の責任を負いません ・ 審査内容・決定に関するお問い合わせには応じかねます ・ ご応募時の個人情報は本企画の目的以外には使用せず、個人情報保護法および関連法規を順守し適切に取り扱います 入選作の表紙掲載に関して ・ 作品は現物をお送りいただきます。作品の撮影費用、その他の費用は友事務所が負担し、ご返却します ・ 入選作品は慎重に取り扱いますが、不可抗力の損害または紛失については、責任を負いかねます ・ 表紙のサイズに合わせて作品をトリミングする場合があります ・ 作品の上にタイトルその他の文字がかかる場合があります ・ 入選者には作品に関するコメントを頂き、掲載します ・ 掲載に際して、賞金ならびに掲載料の支払いはいたしません ・ 作品の著作権は作者に帰属します ・ 印刷技術の都合により、作品の色は正確に出ないことがあります（作者側の色校正作業なし） ・ 本企画では作品を『友』（印刷版・電子版）の表紙として掲載します。その他、友ウェブサイト、SNS など、表紙として友事務所発行物に掲載する可能性があります。また、ロータリーの地域雑誌の表紙として国際ロータリーへ提供することがあります
お問い合わせ	ロータリーの友編集部 表紙募集係 cover@rotary-no-tomo.jp



新ロータリークラブ

大阪上方 (2660・大阪府)
2024年7月22日承認 会員数:32人
例会日:第1・3・4月 12:30
(第4 オンライン)
例会場:シェラトン都ホテル大阪
会長:溝畑正信 幹事:竹谷美和

新ロータリー衛星クラブ

高萩渚 (2820・茨城県)
2024年8月1日認可 会員数:11人
スポンサークラブ 高萩
例会日:第1・3水 19:30
例会場:今川ガレージ
議長:守屋真人 幹事:大高壮一郎

新インターアクトクラブ

高知学芸中学高等学校 (2670・高知県)
提唱:高知西RC
結成:2024年7月12日

磐城緑陰中高 (2530・福島県)
提唱:いわき平東RC
結成:2024年7月24日

◆訂正 本誌2024年8月号横組みP35 右段最後のRI事務局長ジョン・ヒューコ会員の3~4行目、最高執行責任者→最高経営責任者へ、おわびと共に訂正します。

◆2024-25年度ロータリー手帳訂正付録の「ロータリー関連資料」P13 ロータリアンの行動規範の中、4)→5)に修正。本来の4)が脱文しており、3)の次に「4)ロータリーやほかのロータリー会員の評判を落とすような言動は避ける。」を挿入。おわびと共に訂正します。

地区別クラブ数・会員数一覧表
(2024年7月末現在)

地区	R C 数	会員数	23年7月末 会員数
第2500地区	64	2,189	2,227
第2510地区	68	2,339	2,398
第2520地区	76	2,014	2,041
第2530地区	60	2,157	2,193
第2540地区	40	1,106	1,104
第2550地区	47	1,556	1,612
第2560地区	54	2,024	2,013
第2570地区	47	1,567	1,564
第2770地区	68	2,238	2,296
第2790地区	83	2,686	2,667
第2800地区	49	1,499	1,491
第2820地区	55	1,815	1,881
第2830地区	40	1,113	1,108
第2840地区	45	2,047	2,034
第2580地区	73	3,044	2,979
第2590地区	52	1,817	1,856
第2600地区	52	1,811	1,838
第2610地区	63	2,475	2,489
第2620地区	74	2,851	2,870
第2630地区	74	3,110	3,109
第2750地区	98	4,559	4,554
第2760地区	84	4,574	4,618
第2780地区	67	2,333	2,376
第2640地区	64	1,538	1,569
第2650地区	95	4,199	4,242
第2660地区	78	3,457	3,411
第2670地区	73	2,780	2,854
第2680地区	68	2,479	2,524
第2690地区	65	2,900	2,922
第2700地区	60	3,140	3,107
第2710地区	72	3,144	3,148
第2720地区	73	2,303	2,349
第2730地区	68	2,364	2,339
第2740地区	55	2,067	2,089
34地区合計	2,204	83,295	83,872

日本のロータリー
会員数 83,038人
クラブ数 2,195
(左の表中34地区合計から、
第2750地区のPBグループ
を引いた数です)

ガバナー月信より 第2750
地区クラブ数・会員数は、P
Bグループ(北マリアナ諸島・
グアム・ミクロネシア・パラ
オ)9RC・257人を含みま
す。P6「日本のロータリー」
数は34地区合計からPBグ
ループを引いた数。23年7
月末PBグループは9RC・
276人。

地区会員数修正 9月号横
組みP50(6月末)表中、
2560・1,983人、2710・
3,090人、2730・2,329
人、34地区合計会員数:
82,066人、表外とP6「日
本のロータリー」最終行会員
数81,801人。

ご案内 左記一覧表は、3
つの地域順で色分けしてあり
ます。表中の左端の色と、横
組みP47奥付の日本ロータ
リー分布図の色を対照し、ご
覧ください。

*『友』ウェブサイトの「ロー
タリー資料館」にデータ修正
後の表を掲載しています。

ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp

ロータリーの友 11月号主要記事予定

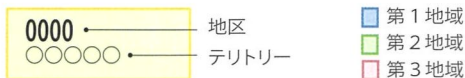
横組み ロータリー財団月間
アーチ・クランフとAKS

縦組み 今だから津田梅子 そして、サファイアの指輪と私
津田塾大学学長/同大学芸学部英文科教授・財団学友 高橋裕子
この人訪ねて 七條公光子さん(高松北RC)

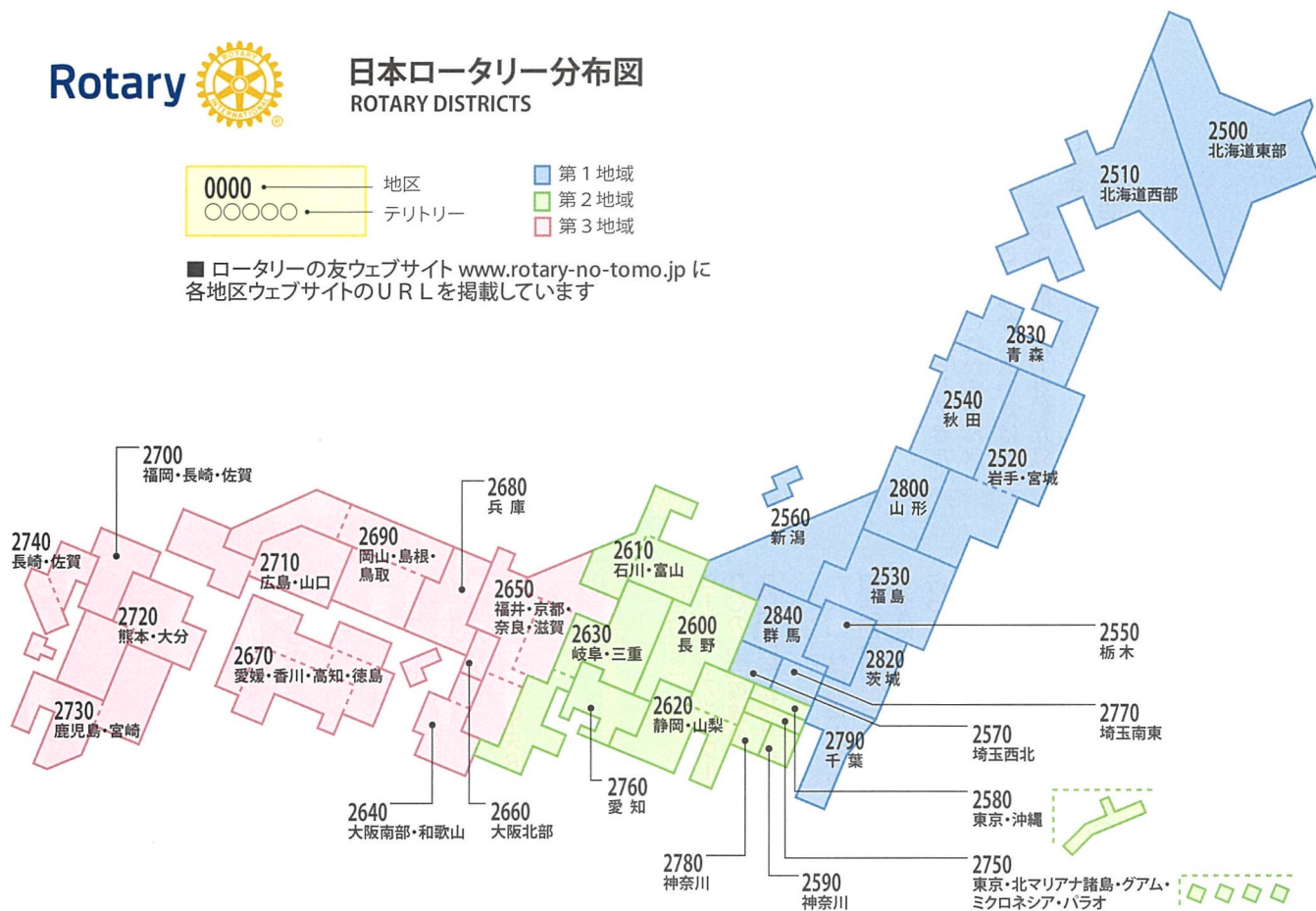
◆お問い合わせは 一般社団法人ロータリーの友事務所
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階
Tel. 03-3436-6651 Fax. 編集部 03-3436-5958 管理部 03-3436-5956
編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp 管理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp
ロータリーの友ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp



日本ロータリー分布図 ROTARY DISTRICTS



■ ロータリーの友ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp に
各地区ウェブサイトのURLを掲載しています



ロータリーの友委員会

委員長 高野孫左エ門 (甲府)
副委員長 中川 基成 (あすか)
R I 理事 水野 功 (東京飛火野)

特別顧問 橋本 長平 (京都東)
清水 良夫 (横浜)
片山 主水 (名古屋東南)
鈴木 宏 (宇都宮北)

顧問 森川 昭正 (仙台宮城野)
篠原 一行 (多治見川・付)
中野 博美 (京都)
中川 雅雄 (東京浅草)
田中 靖 (東京小金井)

相談役 上野 孝 (横浜)
安平 和彦 (姫路)
片岡 信彦 (土浦南)

地区代表委員 2500 近藤 真治 (帯広西)
2510 中村 越子 (札幌北)

2520 千田 弥生 (水沢)
2530 佐藤 文雄 (郡山北)
2540 岩佐 信宏 (横手)
2550 鈴木 良男 (鹿沼)
2560 小林 啓之 (長岡)
2570 田島 高久 (深谷)
2770 板橋 智之 (川口東)
2790 海寶 勘一 (千葉西)
2800 木口 護 (白鹿)
2820 小森 勇一 (高萩)
2830 木下 一志 (五所川原)

2840 柳田 秀男 (太田)
2580 相澤 愛 (東京練馬西)
2590 亀ヶ谷純子 (横浜港北)
2600 中澤 弘和 (佐久コスモス)
2610 青島 郁男 (宇奈月)
2620 齋藤 嗣樹 (鎌崎)
2630 市川 裕規 (名張中央)
2750 市川 和博 (東京八王子南)
2760 池森 由幸 (名古屋千種)
2780 田中 哲 (鎌倉大船)
2640 北芝 昌明 (和歌山南)

2650 福田 一郎 (奈良)
2660 木村 芳樹 (大阪南)
2670 坂田千代子 (徳島アリス)
2680 近田 和裕 (神戸西)
2690 飛山 美保 (岡山南)
2700 江藤 航治 (小郡)
2710 鈴木 義治 (岩国)
2720 波佐間英樹 (熊本中央)
2730 深尾 兼好 (鹿児島西)
2740 俣野 正仁 (大村)
編集長 野崎 恭子

月刊 ロータリーの友

第72巻10月号

2024年9月30日印刷
2024年10月1日発行

定価275円
(本体価格250円 送料別)

振込先

振込銀行 三井住友銀行浜松町支店
口座番号 (普通) 7450015
郵便振替 口座番号 00180-8-694591

一般社団法人 ロータリーの友事務所

■社員 水野 功 (東京飛火野)
石川彌八郎 (東京福生)
伊藤 千恵 (東京恵比寿)
佐々木辰郎 (大和田園)
大橋 秀典 (東大阪東)

■理事会

代表理事 高野孫左エ門 (甲府)
理事 中川 基成 (あすか)

理事 橋本 長平 (京都東)
清水 良夫 (横浜)
片山 主水 (名古屋東南)
鈴木 宏 (宇都宮北)
森川 昭正 (仙台宮城野)
篠原 一行 (多治見川・付)
中野 博美 (京都)
中川 雅雄 (東京浅草)
田中 靖 (東京小金井)
横山 武志 (東京北)
羽田 伊助 (東京目黒)
本田 博己 (前橋)

理事 山内 一浩 (浦和)
慶野 保夫 (小山中央)
野中 茂 (川崎)
榊原 一久 (東京池袋豊島東)
渡辺 剛 (東京みなと)
野崎 恭子

監事 宮嶋 康明 (新千葉)
高野伊久男 (横浜西)

■職員

所長 渡辺 剛 (東京みなと)
編集長 野崎 恭子
編集 稲川やよい
熊谷健太郎
黒野 穠二
山名 愛
飯田亜由香
新見 圭太
管理 富澤 美子
半田 弥生
草野 淑美

印刷 大日本印刷 (株)
表紙印刷 半七写真印刷工業 (株)
表紙題字 加藤光峰
表紙編集 スタジオ ジャンゲル・ジム

●落丁本・乱丁本は一般社団法人ロータリーの友事務所までお知らせください。
●本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。

一般社団法人 ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階
Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5958 (編集部) / 03-3436-5956 (管理部)
hensyu@rotary-no-tomo.jp (編集部 / 本誌の内容のお問い合わせ)
keiri@rotary-no-tomo.jp (管理部 / 購読・注文)
www.rotary-no-tomo.jp



声

7月号の感想

『友』を読んで、「この原稿を書いた人にエールを送りたい!」「感動した」「知らなかった」などの感想、『友』そのものに關するご意見などを紹介します。

【対象記事】

Rー会長メッセージ「より大きなビジョンに向けて」(横P 6~7)

【感想】Rー会長の思いを読み、その中に書かれていた「帰属意識」という言葉にはっとさせられました。ロータリーに入って3年目、前年度より帰属意識を高め、毎回の例会などに出席しているように思います。

荒尾RC 森山 秀一

【対象記事】

Rー会長紹介「The playmaker」(横P 8~15)

【感想】所属クラブが起こしてきたマジックを確認し、これからどんなマジックが起こせるかに思いをはせました。この1年間の活力を得た気がします。

佐世保中央RC 吉野 英樹

【対象記事】

特集「A Labor of Love 愛情が支える活動」(横P 16~21)

【感想】ナイジェリアの実情に衝撃を受けました。ロータリーの力でその状況が改善されつつある事実に感動しました。

伊勢崎中央RC 下田 恭子

【対象記事】

ロータリーアットワーク。因島・庄原RCの「芸備線の利用促進を応援する交流会」(横P 51)

【感想】鉄道ローカル線の不振は全国共通の問題です。広島県の庄原RCではJR芸備線の利用促進活動を行っており、同じ地区の因島RCが応援のため訪問し交流会を開いたとのことで、感銘を受けました。芸備線は廃線の危機にひんしているようですが、私たちの地元の鉄道も同様の危機を抱えており、このような取り組みを参考にしていきたいと思いました。

前橋RC 宮崎 岳志

【対象記事】

スピーチ。榎田恵一氏の「世界に誇れる厚岸が育むウイスキー ローカルからグローバルへ」(縦P 4~8)

【感想】20歳まで過ごした故郷、厚岸の記事に引き込まれました。まさか、漁業と酪農しかないと思っていたこの地で、国産ウイスキーが製造販売されるなんて、驚き以外の何ものでもありません。社長以下、社員の仕事への取り組み姿勢に感服。ますますの発展を祈るばかりです。

高崎シンフォニーRC 泉 省平

【対象記事】

ロータリーあるある相談室(縦P 21)

【感想】ありそう!と思って面白かったです。回答がまた、違う視点からで勉強になりました。次回も楽しみです。

多久RC 陣内 弘子

【対象記事】

ロータリーあるある相談室(縦P 21)

【感想】気を付けねば……と、わが身を律しました。

横須賀RC 大石 朗

【対象記事】

この人訪ねて。松本RC・赤沼健至さん(縦P 9~12)

【感想】燕山荘のオーナーがロータリアンであることにビックリ! 私もお世話になったことがあります。山は、あいさつ、エチケット、コミュニケーションが自然と身に付く場所です。皆さん登山に出かけましょう。

三木みどりRC 間瀬 清

【対象記事】

友愛の広場。杉戸RC・栗原偉憲氏の「楽しんで奉仕するのがロータリー」(縦P 16~17)

【感想】50歳を過ぎ、社会貢献について考えることが多くなりました。文中の中川定雄さんが自己実現と社会発展を立派にリンクさせているのを知って強い刺激を受け、焦燥感にも駆られました。奉仕のコツに気が付かされた、ありがたい記事でした。

諫早北RC 立川 康太

●本文1500字以内。本文とは別に、対象記事名(例:〇月号「友愛の広場」、〇〇さんの記事)とお名前、クラブ名、連絡先を付記しお送りください。詳細は投稿規定または『友』ウェブサイトです!

ロータリー あるある相談室

キラッと
解決!?

皆さんの「あるある」な相談に、経験豊かなパストガバナーが、真剣に、時にはユーモアを交えてお答えします。

相談

私は入会3年目の新会員です。入会前、ロータリーは地域に根差した素晴らしい活動をしていると聞いていました。

ところが、いざ入ってみると、マンネリ例会や懇親会ばかり。それなのに、ベテラン会員は例会出席や懇親会への参加を鬼のように言ってくる。帰属意識を高めたいというなら、一緒に奉仕活動をして体を動かせばいいのに。私はロータリーの文化に合わないのかもしれませんが。退会した方がお互いのためなのかな気がしてきました。

(新潟県・かかし・37歳)

回答①

羽部 大仁



札幌南RC
(仏教一浄土真宗)

かかしさんの、奉仕活動に寄せるお気持ちは素晴らしいです。でも、ロータリーにはもっ

と別な角度から学べることもあるかもしれませんよ。あなた自身が成長するために別のロータリアンから学べることを学ぶため、そして、他の会員にとってもあなたが良い刺激となれるように、ロータリーは続けた方がいいと思います。仏教には「凡夫」という言葉があります。一般的に凡夫とは、凡庸な人のことを指します。もっと詳しくいえば、欲深く、怒りやねたみ、そねみといった煩惱に惑わされている人のことです。となると、ほとんどの人は凡夫ではないでしょうか。凡夫同士、学び学ばれつつロータリーを続けませんか。

煩惱といえば私も職業柄、常に心穏やかにあるよう努めています。が、ラーメンを食べに行くと、隣の人のチャーシューが私のものより厚かったら悔しいし、すてきな女性と歩いている男性を見ると、うらやましいと感じる私がいいます。大きな声では言えないんですけどね。

回答②

矢野 宗司



加古川中央RC
(学習塾)

あなたに問題があるのではなく、ロータリーに問題があるのです。入会者が3年以上に50%近く退会する組織って、周りから見るとどう映るのでしょうか。「入れ入れ詐欺」と言われても仕方がありません。私は学習塾を経営していますが、生徒が辞めると経営に影響しますから、しっかりその原因をチェックし、改善策を練ります。ロータリーは会員増強には力を入れないが

ら、会員維持のための努力を怠っています。近頃「居心地の良いクラブづくり」を強調していますが、もっと以前からやるべきだったのです。また、例会が楽しいかというアンケートでは、64%が「どちらでもない」と回答しています。半数以上が楽しんでいない例会をそのままほったらかしにしているのです。ロータリーはそういう文化を変える必要があります。これはあなただけの思いではありません。ロータリーがDEIを取り入れるべきだというのは、まさにこのことです。そして、ロータリーは新たな文化へと少しずつ変わっていくつあります。



イラスト：ライトマン

卓話



■「卓話の泉」は、クラブの会報、週報に掲載の卓話の中から、客観的内容の話題、ミニ知識となるものを主に選んで要約、掲載しています。

口臭とは

早野歯科医院 院長 早野 泰弘

歯や口の悩みについて、日本人にアンケートを取ると「口臭」が上位に挙がります。一方、在日外国人の約7割が「日本人の口臭にびっくりした経験がある」というアンケート結果があります。

欧米などの外国人はハグやキスなどスキンシップの機会が多く、口臭に気を遣います。口腔ケア用品も日本以上に販売・購入されているのに対して、日本人は比較的人と適度な距離を保ってコミュニケーションを取るため、口臭に気を遣う機会が少ないことが一因でしょう。しかし、多くの日本人が口臭に悩んでいることから、口臭とは何か考える必要があります。

口臭とは「本人、あるいは第三者が不快

と感じる呼気の総称」と日本口臭学会で定義されています。人は普段は鼻呼吸をしています。話すと、吐く息に混じって口の中のおいや鼻の中のおいをまき散らすため、口臭が相手に届きます。

その臭いは、生理的口臭と病的口臭に分けられます。生理的口臭は、程度の差こそあれ誰にでもあり、起床時や空腹時、疲労時、緊張時、思春期、月経時などに加え、飲食物によるものがあります。病的口臭は、歯周炎や炎症舌苔など歯科口腔疾患や耳鼻咽喉科領域の疾患、糖尿病や肝疾患、腎疾患などの全身疾患によるものがあり、最も多い病的口臭の原因は、歯周病です。

胃の調子が悪いと口臭が強くなるというのは、消化管の不調が口腔内環境を劣悪な状態に招いたために起こります。急に口臭が強くなったなら、体調の変化や病気の前兆と捉え、健康の指標にしましょう。

口臭を気にし過ぎて悩む人がいます。人から口臭を指摘されたのを契機に、自分の口臭が人に迷惑をかけているのではないかと、臭いのが頭から離れない「口臭症」に陥った人は、口臭外来での治療が必要です。

自分のため、周りの人のためにも口腔ケアをしつかりすることをお勧めします。

(第2630地区・岐阜県・大垣西RCにて・同RC会員)

私の一冊

評伝 耳鼻咽喉科のバイオニア

久保猪之吉 医学と文学の狭間で

本宮RC 高田 宗彦

日本の近代耳鼻咽喉科学の礎を築いた久保猪之吉は、1874年に福島県の安達太良山の麓・本宮に生まれ、苦学生ながら周りの支援を得て現在の東京大学医学部を卒業。その後、官費留学生として、ドイツのフライブルグ大学で耳鼻咽喉科学を学び、帰国後、現在の九州大学耳鼻咽喉科初代教授となった。世界の学会に研究発表だけでなく、日本代表としても参加。「世界のイノ・クボ」に学ぼうと、欧州から同大に留学した学生も数多い。

医学界のみならず短歌の指導者として、また俳句界でも活躍。夏目漱石や斎藤茂吉、高浜虚子、若山牧水らとも親交のある、まれに見る文学者でもあった。著者の柴田博士は久保が始めた耳鼻咽喉科で学び、同科の講師を務めた。ロータリアンとして、福岡東RCの会長も務めている。(第2530地区 福島県)



柴田浩一 著
梓書院
2018年9月刊

の活動に参加していたが、不慣れな学生生活のこともあり、面倒見の良いアイリスさんが相談に乗るようになっていった。アイリスさんは卒業後、地元の会社に入社し、福島に残ったことも手伝って、白さんの学業や生活へのアドバイスをするなど交流を継続。そして20年6月、いわき市で初日の出を拝む絶好のスポットとして知られる「波立海岸」で、白さんがアイリスさんに告白し、交際をスタートさせた。

22年はタイ、23年には韓国と、それぞれの家族や親族と面会。言葉の壁を超え、ジェスチャーなどでコミュニケーションを図ったそうだ。二人は現在、いわき市の会社に勤務している。特にアイリスさんは、自身のカウンセラーだった志賀利彦パストガバナー(PG)の会社で転職し、勤務に励んでいる。そんな二人が、外国である日本で結婚するためには、それぞれの大使館に必要な書類を申請するなど煩雑な作業が積み重なり、書類の準備だけでも約5カ月を要したという。そして23年3月25日、交際スタートから1000日のタイミングで白さんが波立海岸でプロポーズ。約3カ月後の6月29日に婚姻届をいわき市に提出するに至った。

それから約1年後の今年6月1日、韓国で挙式。家族や親族、友人などに加え、当クラブからは志賀PG夫妻が代表して出席、いわき内郷RCからも会員が出席した。二人は日本に住み、「支えてくれた人たちに恩返しをしたい」と話している。米山奨学生としてロータリーの精神を学んだ二人のこと、世界をつなぐ架け橋として、明るい姿を私たちに見せてくれるに違いない。(第2530地区 福島県 マスコミ・メディア)

人生100年時代の家

丸亀 横田 龍男

今、立っている家の多くは、100歳を迎えたときには住めません。なぜなら、体が思うように動かなくなったときのことを考えて建てられていないからです。

では、若いときから老いてまで長く住める家とは、どのような家なのか。具体的に言いますと、①自分の寝室は1階に造る(2階まで行けなくなりません)。②寝室の隣に2人で入れるトイレを造る(介助者とするため)。③車いすが必要になったとき、外部から寝室まで車いすで行ける造りにする。家は「ついのすみか」となるよう、新築の段階で先を見据えて建てる必要があります。

私がこのことに気付いたのは、父での経験があったからです。手術のため、父が家を出た時は歩いて出かけたが、退院時には介助が必要になっており、以前のような生活はできなくなっていました。

なぜ初めから、そうした家が建てられないのか。それは家を建てる頃はまだ若く、将来の姿を具体的に思い描くことができないからでしょう。これは無理もないこと。家の多くは、その人が人生の中で一番勢いのあるときに建てられます。しかし、必ず老いはやってきます。職業柄、このような話を若い人にすると、決まって同じ返事が来ます。「そのときが来たら考えます」と。しかし、そのときが来たらでは、

思うようなりフォームはできません。それは断言できます。なぜなら私が経験したからです。

国土交通省は2019年3月に「高齢期の健康で快適な暮らしのための住まいの改修ガイドライン」を策定しました。これは、今住んでいる家をどう改修すれば、高齢者が快適に暮らせるかを紹介したものです。こうしたガイドラインが策定されるのは、自宅での生活に困っている高齢者が多くいるということ。しかし、初めからこのガイドラインに書かれているような家を建てていけば、改修工事をする必要はありません。政府が人生100年時代をうたうのであれば、新築のときからやがて来たる人生に備えた家を建てるよう、一歩踏み込んだ指針が必要と考えます。(第2670地区 香川県 建築設計)

うちの子

トニーちゃん
・ケアンテリア
・女の子9歳



トニーちゃんから、元気をもらっています。(私は)今年で94歳。トニーちゃんのために、100歳を過ぎても元気でそばにいます。

打垣内尚雄 (大阪御堂筋本町RC)

陳瑤さんと石川県七尾市に行ってきました。

7月12日朝5時半に出発し、11時頃に七尾駅に到着。午後0時半から七尾RCの例会に出席し、津田晃会長をはじめ会員の皆さんに温かく迎えられました。震災後の状況を伺ったところ「やっとインフラが進み、復興復旧はこれから」とのことでした。

例会後、七尾RC提唱のインターアクトクラブがある、鵬学園高校に移動。同校には普通科と調理科があり、スポーツにも力を入れているとのこと。ところが震災により、校舎の一部や体育館、グラウンドの他、調理施設や設備などに甚大な被害があったそうです。そこで事前に要望を聞き、上坂俊就校長が見守る中、代表の男子生徒にスポーツ用具を手渡しました。その後、校長室でわれわれ米山学友はどんな協力ができるかを話し合ったところ、校長は米山記念奨学事業そのものにとっても興味を持ったようで、生徒が海外の修学旅行先で、その国の学友と連携できるかなど、話が大変盛り上がりしました。

夜は地域の復興にもつながるかと、地元の飲



ボランティアに参加した陳さん(左)と朴さん

食店に伺いましたが、偶然にも店長は上坂校長と同級生とか。話は再び盛り上がりしました。

翌13日は朝8時半に七尾市災害ボランティアセンターで登録を済ませ、全国から集まった53人のボランティアと一緒に復旧支援活動に参加。私たちのチームはリーダーを陳さんが務め、愛知県と兵庫県から来た2人、私の計4人で、地震で崩れたブロックを運搬する作業を行いました。実際に作業をしてみると、まだ復旧復興への道のりは遠いことを痛感させられました。お手伝いした家庭では「6月によく電気が通った」と聞き、同センターのスタッフからは、いまだに仮設住宅や避難所で暮らしていたり、家族が離れ離れの人たちも大勢いると聞かされ、胸が痛くなりました。自分ができることを、行動力を持って一歩ずつ進めていきたいと思いました。日本のロータリアンの支援を受けた恩を、日本の未来を担う若者に還元したいと思います！ (第2750地区 東京都 獣医医療)

米山奨学生同士の結婚

いわき小名浜 湯田伝一郎

福島県いわき市の二つのクラブでお世話した米山奨学生、韓国出身の白映建さんとタイ出身のチンナラットウオラチョテ・アイリンラダー(愛称アイリス)さんが昨年、国際結婚をした。先に日本にやって来たのはアイリスさんだった。2018年、市内の東日本国際大学経済経営学

部に3年生として編入。翌19年、私のクラブの米山奨学生となった。その年、白さんが同じ大学に入り、アイリスさんと同じ学部を専攻。いわき内郷RCの米山奨学生に選ばれた。

当初は大学構内でも会う機会はなかったそうだが、いわき市地球市民フェスの日本語スピーチコンテストで、二人は運命の出会いを果たす。当時4年生だったアイリスさんと1年生の白さん。アイリスさんはいわき市の魅力を発信し、国際交流や観光振興に貢献しようと、同大学の留学生による情報発信プロジェクト「いわきGLOBAL NETWORK+」に参加し、チームのリーダーとして活躍。一方の白さんも母国語を生かして語学教室の運営に携わるなど地域



白さんとアイリスさん。結婚式には志賀PG(左写真右端)も出席

友愛の広場



エッセー、海外のロータリークラブ訪問記、時局雑感など。1,000字以内。関連写真があれば添付してください。

奉仕の原動力 博多ロータリー讃歌

博多 平 典明

博多ロータリークラブ(RC)は1980(昭和55)年、奉仕の理念を奨励し育む場が博多地にも必要と、故・藤井英一氏らが中心となり、努力の末に創立されました。熱い思いを抱き、クラブをけん引した英一氏でしたが、無念にも83(昭和58)年、52歳の若さで亡くなられました。そして2023—24年度、その思いを継ぎ、会長に就任したのが息子の太一氏です。

太一氏はかつて厳格な父親を嫌って、早く親元を離れたいとの一心から必死に勉強し、全寮制の高校へ進学。逃げるようにして実家を出たそうです。その後は東京の大学へ進み、そのまま就職。しかし、英一氏の急逝により博多に戻り、家業を継ぎました。太一氏は「何も分から



創立時からの熱い思いをつなぐ、博多ロータリー讃歌が完成

ないままの帰郷で、毎日が苦労の連続だった」と酔っぱらった時にぼつり。普段は明るくエネルギーギッシュな人なのに「今になってみれば、もつとおやじと話したかった……」と瞳を潤ませた姿に、私は心を動かされました。

そうして迎えた太一会長年度、ソング委員長となった私は、英一氏から太一会長へと渡された思いのバトンを、さらに後輩たちへ渡せるとすれば、それは何かと悩んだ末に、オリジナルのクラブソング作りを提案し、クラブに提言。90名以上の会員から賛同を得ました。その後も、プロに依頼するのではなく、会員が作詞・作曲する方が良い。楽曲から元気をもらえ、歌うと

楽しくなる曲調のものが良い。「伝統」「博多」「我等」「奉仕」「未来」を歌詞に入れてほしいといった意見や、応援の言葉が寄せられました。そうした声を基に、太一会長が作詞。サビには地域伝統の神事「博多祇園山笠」で歌われる、祝い目出度(めでた)のフレーズ「エイショウエイ」を入れました。これは「さあ、歌いましょう」という意味を含んだ古い方言で、お囃子(はやし)のような言葉。曲名は「博多ロータリー讃歌」と定め、バンド経験がある私が作曲、修正を繰り返し、1年がかりでデモテープが完成。4月の創立記念例会で発表し、好評を得ました。6月の最終例会で初めて全員で合唱。会員の声を盛り込んだこの曲を、会員みんなで歌えば、団結心が生まれ、ロータリーの精神を共有し、奉仕の原動力となることでしょう。創立45年の思いを込めたクラブソングです。大切に歌い継いでいきたいと思えます。なお、讃歌の詳細は左記ウェブサイトに。

イトまで。(第2700地区 福岡県 建築)

www.hakata-rc.jp



能登半島地震 被災地へ米山の愛を!

東京米山友愛 朴 貞子

昨年8月に茨城県つくば市で開催された米山学友による世界大会「再会 in 関東」で、貧しい子どもたちのために募った寄付の余剰金を、能登半島地震で被災した子どもたちのために使ってもらおうと、第5代よねやま親善大使の一人、

父の日や仏壇の水溢るほど

北海道・登別 寺島きしを

忘れ傘束にしてあり桜桃忌

山口県央 浜本桜子

駄菓子屋に肉桂の匂い梅雨湿り

愛知・稲沢 橋本歩々

カレンダーめくれば五月走りだす

大阪・堺フェニックス 米田眞理子

自転車の力士が来たり夏至の朝

東京蒲田 馬場久恵

腹見せし蟬や無言の反戦歌

新潟・新潟中央 高橋健朗

星屑の天球かぶるハンモック

京都伏見 藤井正大

西瓜種飛ばしてもみんなイル川

京都伏見 中山 誠

巴里祭や夜はオムレツさりげなく

愛知・碧南 杉浦保子

プツと種飛ばしっこした桜桃さくらんぼ
あの空き地無くあの友は亡し

大阪天王寺 高見篤志郎

静けさよ木立の中の渓流が
そよ風運ぶ里山の音

宮城・石巻西 熊谷義弥

五重塔の近くをクレインの上下して
九輪の姿見えなくなりぬ

奈良・興福寺 奈良・興福寺
奈良 松森重博

亡き友の夢を見しとき青春の
絵巻のごとく若き我あり

東京荒川 井上久子

薬師寺を訪へば必らず拝したる
聖観音の素足に触れたし

奈良 寺田眞佐子

自らの役職を務めし半生を
パソコンで執筆し偲びたり

宮城・古川東 高橋義宣

美容院に白髪染してスタッフが
液と間違えて何度もこする

埼玉・所沢西 大原律子

散歩する茹だる暑さに引き返す

神奈川東 田口健太郎

本当に今年の暑さはこたえました。私もネタを考えるために歩きますが、すぐ目の前がチカチカして引き返します。無理は禁物。

セツカチもあの世へだけはゆっくりと

新潟・吉田 佐藤良一

落語家はみんなせつかちなんです。少しでも早い新幹線で帰ろうとします。でもみんな長生きなんですよ。

宝くじ当たった気にするコマーション

神奈川東 月山 勇

私もつい買い過ぎてしまいます。だってCM見ると、全員当たるような気がしますもんね。
「待っている 間が楽しい 宝くじ」

足で戸を開けるつもりでこける歳

新潟 小林 悟

思わず笑ってしまいました。「こける歳」ってなんかかわいくて良いですね。気が付いたら老いてます。

同期会同じ話の繰り返し

福岡イブニング 寺田孝英

なんで年を取ると同じ話を繰り返すんですかね？喋ったことを忘れちゃうのかな？でも楽しければいいじゃないですか。

後追いが内股ひそかに伝い降り

和歌山・田辺 梅樽

84歳の村のお医者さんから来た川柳です。私もこの句がしみじみ分かります。「ああ！」と思った時には濡れてます。その年でお医者さんとは素晴らしい。今後も頑張ってください。

投稿規定 ◇雑詠 ◇会員、家族、ロータリー家族 ◇一カ月に葉書で一人三句まで ◇締切 二〇日必着 ◇葉書ウラにもクラブ名、氏名、電話番号明記 ◇文字明確に ◇『友』俳壇係宛

投稿規定 ◇雑詠 ◇会員、家族、ロータリー家族 ◇一カ月に一人三句まで ◇締切 二〇日必着 ◇作品横にクラブ名、氏名、電話番号明記 メール可 ◇文字明確に ◇『友』歌壇係宛

投稿規定 ◇雑詠 ◇会員、家族、ロータリー家族 ◇一カ月に一人三句まで ◇締切 二〇日必着 ◇作品横にクラブ名、氏名、電話番号明記 メール可 ◇文字明確に ◇『友』柳壇係宛

俳壇

夏井いつき 選

麦刈って小学校の現はるる

岐阜西 眞鍋倭文子

小学校の近くの麦畑でしょうか。通学路沿いに、丈高く実った黄金色の麦の穂が、初夏の陽に熟れた香りを放っています。麦が刈り取られた途端に、隠されていた小学校がぐんと現われた小さな感動が、大きな景として描かれました。

礼服の我等冷房車内かな

東京蒲田 阪田 昭

夏の日に礼服を着て集うのは、それだけで汗をかく大仕事。慶事にしろ、弔事にしろ、人生の特別な瞬間を共にする縁を「我等」の二文字が物語ります。しみじみと冷やされていくのは喜びでしょうか、哀しみでしょうか。

付度を知らぬポンポンダリアかな

愛知・名古屋錦 石井弘子

「付度(そんたく)」という言葉が「人の気持を慮(おも)んばか」という本来の意味から逸れ、「権力におもねる」行為として流行している昨今。そんな風潮もどこ吹く風と、色美しく軽やかに揺れるポンポンダリアのように生きたい人の眩きなのでしょう。

メーデーや雨に繰り出す女性旗手

千葉・富津中央 三枝かずを

歌壇

佐佐木幸綱 選

車椅子を一万台送るゲリラ戦で
足を失くせる兵士のために

岐阜加納 鵜飼武彦

車椅子の送り先はウクライナでしょうか。あるいはイスラエル・パレスチナかもしれません。
車椅子二万台とはどれぐらいのボリュームなのか。私にはイメージすることさえできません。

門を出る大きな傘の見えしとき
小さな傘のふたつ駆け寄る

愛知・名古屋錦 石井弘子

ビルの五、六階の窓から傘の動きを見下ろしている光景だろうと読みとりました。
傘で人は見えませんが、たぶん、お母さんの傘と二人の子供の傘なのでしょう。いいですね。

海水浴次はハワイと決めている
何人連れて行ける事やら

大阪・堺清陵 物種唯修

柳壇

三遊亭白鳥 選

今夏は異常なまでの暑さでした。さすがに皆さんもぐったりして、嘆く川柳がたくさん来しました。私もこの夏、ウオーキングは中止。夜中に歩いていると、アスファルトにこもった熱で、かげろふのように道が揺れてます。電信柱の陰に、白い着物の女性がボーッと立っています。すれ違って振り返ったら消えてました。私、熱中症でしょうか？

天 白髪染やめて三月の山ぼうし

福岡・小郡 土方艶子

この句を読むと、雪をかぶった富士山の雄大な姿が思い浮かびます。柳家喬太郎師匠は同い年ですが、5年前から頭は真っ白。でも、彼の師匠の柳家さん喬師匠は、染めてないのに黒くてフサフサ。うらやましいです。

地

あの夏の花火のにおいありありと

青森・八戸 上村奉樹

花火を思い出せば、見事な大輪の花、おなかに響く音。でも「におい」とは気付きませんでした。
確かに、火薬の焦げ臭いにおい。子どもの頃、故郷で見た夏を思い出します。

人

正論を吐いて止まり木独り酒

高知西 山岡陸宏

正論って、時には人に嫌がられるんですよね。だから、ついつい人の話に合わせてばかり。
でも、正しいことは正しいと言いましょ、立派です。

にっぽんふうど



文・久保田英男

僕はちよつと変な(!?)
鉄道ファン



趣味を尋ねられて答えに困るのは、僕の場合、趣味が広いもののどれも浅いので、どうしたものかと悩んでしまうから。そんな僕の趣味の一つが「鉄道」。車両を撮るのが好きな撮り鉄、列車に乗るのが好きな乗リ鉄など、細分化されるほど日本には鉄道愛好家がいいます。では、僕はどこに属するのか、というよく分からないのです。汽車に乗って旅行するのも好きだから乗リ鉄かもしれないけど、一番好きなのは線路と架線と街並みを眺めること。僕の趣味の中では、電車は脇役。線路の向こうの家々に明かりがともり始めた夕暮れに、電車に乗って家路を急ぐ人、その人待つ家族、そんな情景を妄想しながら眺めているのが大好きなんです。「それは鉄道ファンじゃないよ」と言われてしまうなら、せめて「小鉄」と名乗らせてください。

列車旅のお供は
関東のソウルフード?

さて、「小鉄」らしい話題ですが、皆さんは駅弁の発祥って知ってますか? 大阪の梅田駅や神戸駅など諸説あるのですが、定説は宇都宮。なんだ、やっぱり食べ物話じゃないかって思いましたか? まあ、食いしん坊なので、大目に見てください。

駅弁は1885年7月16日に開業した日本国有鉄道宇都宮駅で販売された「竹の皮で包んだおにぎり2個、たくあん2切れ」がその始まりとされています。値段は5銭。当時は天井が4銭で食べられたというから驚きの価格ですね。現在、7月16日は「駅弁記念日」として制定され、各地でイベントが開催されています。

列車旅で気楽につまめることから人気のサンドイッチ。駅弁として初めて登場したのは1899年、東海道線大船駅だといわれています。当時、ハムを挟んだサンドイッチは高級品。ハードルの高い洋食店でしか食べられなかったため、その気軽さからすぐに人気商品へ。大ヒットを受けて、メーカーは輸入品のハムから自家製造へと踏み切ります。そして、英国人ウィリアム・カーチスの技術を学び、製造を開始。これがいわゆる「鎌倉ハム」の起こりであり、本格的な国産ハム製造の始まりの一つです。

1928年。大船駅のご近所、横浜駅では中華街で好評だったシューマイを汽車の中でも食べやすく、冷めてもおいしい工夫を施したあの「シューマイ弁当」が販売されます。僕も大ファンで、週に1度は食べているかも。なぜ「シューマイ」という表記になったかというと、初代の社長が「シューマイ」を「シーマイ」と呼んでいた、そこに「美味い(うまい)」をかけたことからだと聞いたことがあります。ちなみにその方は栃木県のご出身。駅弁発祥の地、宇都宮とこんな

ところでもつながっているんですね。

宇都宮はギョーザの町として有名です。中国東北部に駐屯していた旧陸軍第14師団の司令部が宇都宮にあったこと、栃木県はニラの生産量が全国1位だったこともあり、ギョーザがこの地に根付いたそう。

中国生まれの日本のソウルフード、シューマイとギョーザには「駅弁の縁」があります。関東の南と北は鉄道だけでなく、食べ物でもつながっているわけです。

ちなみに僕は、シューマイにはからしじょうゆをつけて白飯、ギョーザにはお酢にラー油、少しのしょうゆでタレを作ってビールをグビグビとするのが好きです。ああ食べたくなってきた、今日はどっちにしよう……。

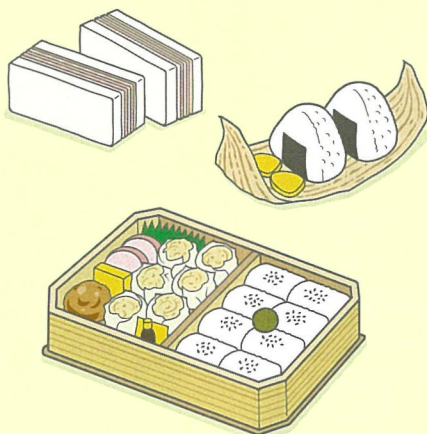


イラスト: ライトマン

久保田英男
鎌倉RC会員(職業分類…菓子製造販売)。「神奈川の人って毎日中華食べるの?」と聞かれ「そんなことはないよ」と答えたけど、1週間のメニューを見たら毎日中華が。唯一「らしいもの」がない日も「寝酒にビール、アテはメンマ」だった。どうなのよ。



伊弉諾神宮に奉職し34年。本名さんは、「私は転勤族で、伊弉諾神宮への赴任は落下傘で降り立ったようなものでした」と言う。というのも、神社の宮司は代々の家柄で継承されていると思われがちだが、本名さんはそうではない。淡路島出身ですらない。「本名家で神宮になった者は私以外にいませんでした」とのことだ。旧満洲（中国東北部）の首都、新京（現・長春）で1944（昭和19）年12月に生まれた。父は奉天工業大学で教えていたが、敗戦直前に、家族は父を残して母親の郷里である静岡県に引き揚げる（のち父親も帰国）。名門の県立静岡高校に進学、建築家を目指したものの、交通事故で1年留年し断念。祖母が神道の信仰にあついこともあり、神職養成課程のある「神宮皇學館大学」に進学しました。ところが、卒業に7年かかった。

「最初は在学限度の8年間はいるつもりでした。ハワイアンのバンドにのめり込み、ウッドベースを弾いていた。プロのミュージシャンとも観光旅館などの演奏に回っていました」

転機は70年11月に起きた三島由紀夫の自決事件だった。「革命」を叫ぶ新左翼系の学生運動が燃え盛り、それに対抗する学生の動きがあり……若者たちが今よりずっと熱かった時代だ。そんな中、本名青年も「憂国の思い」を募らせていたと言う。

「卒論を1カ月でさっと書き上げ、残っ

ていたバンド演奏の契約も済ませ、翌年10月から郷里の神社で神職のスタートを切りました。神部神社・浅間神社・大歳御祖神社（三社を通称し静岡浅間神社）に18年間奉職したが、「神社本庁から『明日から行ってくれ』くらいに急な下命で熱田神宮（愛知県）に転任しました」。89年のことだ。それも束の間、翌年10月には今の伊弉諾神宮への異動が発令される。

阪神・淡路大震災に遭遇 人脈に助けられ復興に尽くす

運営がうまくいっていなかった伊弉諾神宮の立て直しに新しい宮司を迎えることになり、その地ならしの特命を帯びての赴任だ。宮司、権宮司に次ぐ禰宜の役職だった。

「境内は草ぼうぼうでした。各町内会長に神宮の外で集まっていただき、理解を求めて話し合いました。神職も当時は3人しかいなかった。今では巫女も含めて15、16人になりましたが」

と言う。さぞかし大変だったでしょうと聞けば、

「転任は苦ではないですね。むしろ楽しい。新しい人たちと出会えますから。私は高校でも大学でも回り道をしたが、その分、年は違っても同期という人たちが多く、人脈が広い。熱田神宮での経験も由緒ある神宮でいろいろな作法を学

その朝、神戸・三宮のバスターミナルを出発した高速バスは明石海峡大橋を渡り、約1時間で淡路島の伊弉諾神宮前に着いた。神宮では宮司の本名孝至さんが、すでに緋色の単に黒の袍（上着）を着け、白地に紋入りの袴をはき、冠をかぶり、笏を持ち、威儀を正し待っていてくれた。「これは宮司が年3回の大祭でしか着ない正服です」

と説明される。正服は神職の役職によつて色や紋が決まっている。本名さんのそれは6階級あるうち最上位の「特級」のもの。本名さんは神社本庁から2022年に特級の位を授与されたが、当時この榮譽を報じた産経新聞は「全国の神職約2万2000人のうち特級は120人程度」と書いている。その由緒ある装束をあえて『ロータリーの友』取材のために着けていただいた。

「それでは行きますか」。促され、写真担当の熊谷さんと厳かにおほらいを受けてから齋庭（神様を祭る神聖な広場）に進む。齋庭から本殿の前に立つ本名宮司を撮影した。

この日は淡路島も30度を超える暑さ。だが、清浄な神前は涼やかな風が渡り、心洗われる。

神宮の貴賓殿にある和室でかしこまっていると、床の間に明治から昭和期の絵師である栗田真秀が描いたイザナギノミコトとイザナミノミコトの日本画の軸が掛けられた。『古事記』や『日本書紀』

の冒頭にある「修理固成尊図」国生み縁の図だ。二柱の神は、矛の先から滴ったしずくが固まってできたオノコロ島で結ばれ、そこから日本を形づくる八つの島（大八島）を次々に生んでゆく。島々の中で一番最初に生まれたのが淡路島だという。

やがてイザナギノミコトは御子の天照大御神に日本を治める権限を譲ると、「幽宮」に移って余生を送り、神陵（お墓）が造られたが、その地が伊弉諾神宮だとされる。

「1876（明治9）年から始まる明治政府による造宮で、イザナギノミコトの神陵の上に本殿が移されます。伊藤博文が兵庫県令（現知事）のころです。その際に神陵の聖石数十個が、本殿台床下に格納され、残っています」

と、本名さん。起源は天照大御神を祭る伊勢の神宮よりずっと古く、「伊弉諾神宮は、わが国最古の神社」という。北緯34度27分23秒にある伊弉諾神宮と同じ緯度上の真東に、天照大御神の伊勢の内宮が鎮座するのも偶然ではないと見る。

境内に樹齢約900年、幹回り8メートル、高さ30メートルの「夫婦の大楠」と呼ばれる県指定天然記念物のクスノキがあった。太い幹は途中から二股になっているが、もとは2本の木だったのが一つになったそう。夫婦円満、子孫繁栄の象徴とされる。境内に神話と史実が混然一体となった日本人の「いにしえの記憶」が宿って



上：夫婦の大楠 左上：イザナギノミコトとイザナミノミコトの軸 左下：夏祭りの看板の文字を書く本名さん



いると感じた。

大学に7年在学 憂国の思いで神職に

取材に訪れた日は神宮の夏祭りの前日で、神職たちは汗をかきかき、準備に大忙しだった。本名さんも正服をすぐ夏向きの白衣に着替え、準備に立つ。

取材中こんなシーンに出くわした。本名さん、境内で台の上に置いた3枚はある白地の大看板に、ただ一人で向かった。文字の大きさと配置の見当を付ける

と、太い筆にたつぷり墨汁を含ませ、さらさら。「伊弉諾神宮夏祭り 納涼大會 嶺陽子歌謡ショー・カラオケ……」と一気に書き上げた。次に文字の両脇に歌謡ショーの写真ポスターを張り、仕上げに文字とポスターの空白にピンクや青色のラッカーを吹き付ける。この間わずか15分ほど。本職の看板屋さんも顔負けの手際だ。この大看板は夏祭りのメインステージであるやぐらに掲げられた。何事も率先垂範なのだ。よく見渡すと、神宮のあちこちにある種々の看板の文字はみんな本名さんの手書きではないか。

国生み伝承ゆかりの神社に
“下命赴任”した一徹の宮司

この人
訪ねて
本名孝至

さん 津名ロータリークラブ



思いが強過ぎて突っ走ると、その人との擦れ違いが出て間違ったことが起きる。

Mさんのお連れ合いは、出会って1年後、心労で亡くなりました。もともと、経済的にもぎりぎりだったところに、病も抱えておられました。そこへ震災。私たちが畳は入れたけれど、解決にはならず、飛び込みで来た業者に、残りのお金を全部つぎ込んでしまわれたそうです。

最後、私の自宅に「助けてください」と駆け込み。正直、困った。慌てて私は仲間と対応し始めましたが、入院先の病院で亡くなりました。以来、私はこのご夫婦を忘れたことはありません。私たちの応急手当て・畳の支援の時はお元氣になって、希望を持ってくださったのに、それは一時的なことでした。

真の平等、公平って、何なのでしょう。人を助けることは難しい、と思いましたが。他にも待っている人がいて、できるだけ多くの人を助けたかった、自分の中の正義で動いてきたつもりだった。けれども私は、結局助けたかった人は助けられなかった。

誰かを助ける、助け合うためには何が必要なのか。自分は正しいと思った行為は届かなかった。ということは、他人の苦しみを分けることが大事ではなく、分かりたい、分かろうって思う姿勢、こちらの方が大事なのでは？ それを結果に結び付けられなかった私が言うのは、説得力がないのです。

災害に遭ったら まず自分のこと

筋肉痛はひどく、カビの臭いはお風呂に入っても取れない日々を過ごしました。でも、大変な支援活動を一緒にするよ、と言ってくれる仲間の存在は、勇氣になりました。私は完全な支援者ではなく、被災地の被災者。外から支援する人たちと出会って、とても救われました。自分が間違っていたら「間違っているんじゃない？」と言ってくれる人たちと出会うことができました。

人生、そのような出会いは、なかなかありません。残念ながら私の場合、災害によりもたらされました。そこだけは、前向きに受け取りたいと思っています。

災害に関わっていくことは、誰かの痛みは分かる、感じたいという気持ちをもちながら、ボランティアを続けることではないかと思えます。私のようなボランティア未経験者でも、携わってみると、できることはありました。各々が自分のできることを持ち寄って進めていくので、不可能と思っていたことも可能になりました。

Mさんのお連れ合いが亡くなる前、私は前述のヨシアキさんとけんかししました。「了誓君はね、森を見て木を見てない」と怒られた。その頃私は、被災対応を数字で見えていました。百何十の案件をゼロ

にすることを考えていた。でも彼は、案件一件一件に、住まう人の人生を見ていました。

ボランティアセンターを自分の役割と選んだことで、「平等」「全員を助けなきゃ」ということに私は取りつかれてしまった。自分にとつての災害支援は、ずっと失敗と後悔の連続です。Mさんの家を通りかかるたびに思い出す。

これからの自分にできるのは、逃げずに被災地で起きたことを伝えていくことです。起きてしまったことは、変えられない。亡くなった人は戻らない。ただ、ここから先は、行動次第、考え方次第で助かる人たちが出てくるはず。そこを私は信じたいですし、そこに懸けたいと思います。それをしない未来と、それをした未来は違うはず。

災害は、ただただ悲惨で、美談などあり得ません。とにかく、皆さんが無事で幸せに暮らしてほしいです。災害に遭ったらず自分のこと、自分が元氣になつて、幸せになることを考えてください。それは、自分本位ということではないのです。被災者になって分かりました。確かに苦しい。でも皆で、不幸せになる必要はないのです。むしろ無事で元氣である人は、そのまま幸せでいてほしい。

戻るべき日々を思ってください。被災地でも、人は勇氣を持って生きられます。鋸南の私たちは、こんなにひどい震災を受けましたが、この土地で、生きていき

ます。能登の皆さんもそうだと思います。自分の故郷で生きていきたい。その強い思いに共感して皆さんは、被災者と長いスパンで向き合ってほしい。具体的に何かできなくても一緒に悲しむだけでも、心を共にしていくことが、真に大切なことなのだと思います。

その上で、もし、ちよつとでも分け与えることができる優しさとか、元氣が出てきたら、その一握りでいい。分け与えてくれることで、誰かが救われるのではないかと思っています。

私も、自分の宿命、使命だと思って活動が続けていきます。興味を「ちよつと」でも持った方はぜひ、一緒に。

鋸南町、災害支援活動は続いています。

SPEECH



訪問介護あかりケアサービス代表
堀田了誓

1979年 千葉県鋸南町生まれ。

鋸南ロータリークラブ―有志ボランティアグループ(RCV)代表。鋸南復興アクセラレーション代表。鋸南ロータリークラブ会員。第2790地区・地区研修(ラーニング)・協議会2020―21、21―22、22―23、23―24年度奉仕活動優秀ロータリー受賞。

いう知識を持っていたので、鋸南町の災害情報をニュースで聞いた時、この町が今後どうなるか、予測できたそうです。

私たちが頭を抱えていた時にふらっと一人で、たくさん資材を持って現れ、的確な作業を指導してくれました。自身の健康に気を付けつつ作業をすべきなのに、私たちはまるで無自覚。免疫が低下している人がカビを吸い込むと、肺炎スパーギルス症（肺に空洞ができる病）にかかることがあるのに。彼から知識や技術を得ることで、素人のボランティア集団である私たちは、ある程度、災害支援団体という形で成長していききました。

初めの頃、私たちができたのはカビを取り除き、腐ってしまった畳を捨てることだけでした。当然、畳のない部屋、壁や天井がない部屋が増えていきます。人は床にシートを敷いた状態で居住することになる。冬になる前に何とかしたい。

そこで、SNSで「畳がない家が鋸南町にたくさんある」と情報発信をしました。すると、誰かが聞いてくれ、声を拡げて助けてくれました。現代社会のいいところですね。福島県、石川県などから畳の寄付がありました。ボランティア仲間が高速道路から高速道路へと引き継いでくれ、支援物資が集まってきました。

こうして台風の3カ月後の12月。「サタ畳プロジェクト」と題し、畳のない床で暮らしているお年寄りに、少しでも良い形で年越ししてほしい、ということ

で、畳を設置できました。

私たちの被災後も、19号、21号といった台風が、あの年は日本に立て続けに襲来し、鋸南町のボランティアセンターに日々100人ぐらいいまで来ていた人々は、次々と減っていききました。それに對し、引き続き百何十件という単位の案件が来ますから、ほとんど追いつきませんでした。そんな中、各地の災害NPOとか、災害支援団体の皆さんが長期的に鋸南に滞留してくださって、2年ほどかけて、対応していききました。

支援する側とされる側の 思いが擦れ違ふ

被災後4年半が過ぎて思うことは、支援をする側にいた私たちの思いと、助かりたいと願っている方たち、被災者の思いが、必ずしも合致していなかった、ということですね。両者の思いには、ずれ、あるいは距離がありました。

ボランティアの私たちは、困っている人の力になりたい。まだまだ、待っている人たちがいる、もっと多くの人に支援をしたい、少しでも早く。これこそ、平等な支援だ、と。ロータリーでいえば皆に公平かだ、と。周囲の期待の声も高まりますし、正義感のようなものに背中を押されるムードもあり、この町は俺たちにかかっている、ぐらいいの思いにとらわれてしまいました。でも、それって全て、

自分たちの頭の中だけの思いなのです。

Mさんと出会ったのは、10月の初めてでした。ボランティアセンターが20日で閉まることが決まる中、「大変な家がある。閉まる前に行ってほしい」と、お知り合いの方から相談がありました。

ところが私たちは、M家玄関で門前払いで、力になれることがあれば、と申し出ても「いや俺ができる」。憔悴しているお連れ合いには「おまえは黙ってろ」。けれども、屋根の破損がひどく、玄関に入っただけでカビの臭いが充満しているのが分かりました。「ああ、このままでは駄目だ」と感じました。

が、「助けてください」という依頼がなければ何もできない。そこがボランティアの弱いところです。どんなにひどい状況でも、勝手に入れれば不法侵入、勝手に捨てたら器物損壊。本人たちに望まれてから初めて、支援可能。

どのようにしたらスタート地点に立て

SPEECH

るだろう？ 知らない人だから、追い払われる。ならば知り合いになればいい。

そこで、1日1度、少しでも顔を出し、毎日通いました。2週間、3週間ぐらいいしたら、「あんた毎日来るけど、どこから来てんだ」「私も鋸南町なんです」「あんたも被災者じゃないか」。そこから、会話が始まり、支援が始まりました。

災害が起きると、このように、支援から取り残される人が必ずいます。今「取り残される」という言葉を使いましたが、望んで、そちらの側に残る人もいます。高齢者、生活困窮者、障害・難病を抱えている人。地域での孤立、関わりを絶てしまっている人。近年は認知症なども影響し、支援・ボランティアということが理解できない背景も加わっていますが、本来、人というものは、悩みや苦しみを知られたくない。私もそうです。弱みを見せたくない、これは人の本能の一つといってもいいでしょう。

自分の抱えている悩み、苦しさについて話せる人もいますが、話せない人もいますよね。この人たちは、他人には自分たちのつらさなんて分らないと、本当に閉じこもってしまっています。正直、被災前から、屋根が壊れていた人もいます。ですから、そういう人たちは諦めと共に生きていきますから。

そこへ、自分の常識とか感覚、価値観が正しいと思ひ込み、こうしてあげることで、あなたのためになるんだ、という

原始的な方法で対処していました。

一方、激甚災害の場合、災害救助法が適用され、ボランティアセンターが開設されると物資が届きます。この物資も課題となりました。荷物を整理したり、分配する手が全く足りませんでした。受け取る側の役所の人も、ボランティアセンターの人も被災者です。自分の家や子ども、親のことが気になって仕方ないけれど、必死に働く。しかし、処理能力を超える物資は山積みになります。物資が確実に喜ばれることが分かっても、手続きが間に合わない。「欲しい」という人が訪れても、未処理なので渡せないということもありました。

その中で、比較的無事な被災者とボランティアが、専門知識がなくても荷物を整理し、配布することならできたので、協力しました。また、がれき出し作業も即、力になりました。ロータリーアクターの皆さんは、割れた瓦をトラックに積み、廃棄場に持っていく作業をするなど、大活躍してくれました。

そんなことから、鋸南復興アクセラレーションでは現在、復興支援に携わる人材の育成に注力しています。地域の被害対応、カビを除去したり、剥がれた天井を復旧したり、床板を張る、屋根のシートを張る、など室内作業を中心に、技術を磨くことに取り組んでいます。

もう一つ、心の手当ても、とても大切なことです。東日本大震災の時もそうで

避難所開設体験には勝浦RCの中村吉政、西崎和治、吉田理愛会員も参加
提供 鋸南復興アクセラレーション 笹生さなえ



したが、被災時にまだ幼かった子どもたち、怖かった記憶を忘れずに抱えています。心が傷ついているのです。日本はほぼ毎年、台風が襲来するので、台風のニュースを見たり聞いたりすると、不安を感じるようです。「台風が来る、風が強い、怖い」と泣き出したり、震えたり

する子どもたちがいます。

その子たちに何ができるか。恐怖を完全に取り除いてあげることとはできないけれど、「自分たちは放っておかれているんじゃないんだ。自分たちのために動いてくれる人たちがいるんだ」と知ること、その子たちはちょっと、勇気を持つ

ことができるのではと思いました。何事も「ちょっと」が大事、一歩でも前に進む。これが大事だと思いました。

具体的には、ロータリークラブの仲間と小学生、一般の皆さんと、「避難所をつくってみよう」という活動を試みました。皆、初心者。子どもに教える、ということではなく、一緒に考えてつくろう、という方式です。

これが効果的でした。今まで、とにかく怖がるだけだった日々から、逃げ続けているだけでは駄目、立ち向かって、どこかで乗り越えなきゃいけないんだな、という雰囲気が出てきました。

強力な助っ人現る

新しい出会いも。ボランティア団体の代表者・橋本ヨシアキさん。その出会いは、私にとって非常に大きなものでした。災害とは基本、奪うことばかりです。私たちから、いろいろなものを奪い取っていく。けれども、与えることもあるのですね。この出会いがその一つです。

被災することにより身に付いたもの、得たもの。こうしたことは被災地から被災地へ引き継がれていくのではないのでしょうか。彼は、2011年の東日本大震災で活動を始め、13年、常総を中心にした大規模水害でも活躍をした人です。浸水した家屋には何が起きるか、と



鋸南ロータリークラブの災害ボランティアチームの仲間たちと 提供 鋸南復興アクセラレーション 笹生さなえ

携帯関係の電波塔が全てダウンしたので。あまりに広範囲の停電により、電波塔のバッテリーが全て落ちてしまった。となると、全く情報が入ってこない。テレビも駄目、スマホもつながらない。鋸南は、被災側から被害状況を届ける間もなく、全てを失ってしまいました。

車も壊れ家から離れることも難しい。ガソリンも足りない。もう八方ふさがりの中、何が起きているのか分からないまま、暮らしていく形になりました。

鋸南町の屋根はほとんど瓦ぶきでしたので、ほぼ破損。ブルーシートを張りました。作業が進むにつれ、町の景色が真っ青になっていくので、その様子を上空から撮ったメディアは「ブルーシートの町」と連日報じていたとか。半年以上、ブルーシートの屋根だった家もあります。

被災直後には「避難所」と言えるものがほとんどなく、仮設住宅もありませんでした。被災者が、自宅にいることを強く望んだ背景もあります。結果、ほとんどの方が、被災した屋根のない家で過ごしました。

ブルーシートの町を 次に襲ったのは

とりあえずボランティア、自衛隊、業者の皆さんの活躍によるブルーシートにより、雨漏りは止まったのですが、そこからが本当に怖いことが始まりました。

カビの大発生でした。雨で濡れた天井、壁、床、畳が全て、カビだらけになりました。壊れた屋根から雨漏りすること、これは、結局、家の中が全部浸水するということ。河川の氾濫は下から上なので、場合によっては2階から上、屋根は助かるのです。ところが屋根が破損すると、水は上から来る。

しかも、カビの被害はすぐには分かりませんでした。10月の中頃から11月の頭ぐらいに出てきました。ブルーシートがかかって安心したところに、二次災害のようにしてカビが出て、ボランティアセンターには「何とかありませんか」という電話が連日、鳴りつ放しでした。

浸水型の災害でもカビは発生しますが、それは下から。床を剥がす、あるいは洗浄、泥を除去すれば、被害を最小限にすることが出来ます。しかし風災によるカビは、家の全てに発生します。天井から壁から、床から畳から、もうカビが一斉に生える。こうなってくると、もうちよっとやさそとでは、拭いても追い付きません。半日もすれば、カビが復活するのです。

専門家ではないボランティアは、結局どうしたらいいか分からない。しかも被災地の中で、自分たち被災者が被災者を助ける状況なので、物資もない。とにかく、あるもので除去するしかない。手元にある布、要らなくなったTシャツなどを丸めて棒に付け、ゴシゴシ拭くという

堀田了誓

Ryousei Hotta

訪問介護あかりケアサービス代表 鋸南ロータリークラブ

風災の地で生きる 希望ある未来に engagement

2019年9月の房総半島台風で被災して思うのは、2024年の元日に能登半島で起きた、巨大地震災害。災害は「いつか起きる」というよりも、すぐにでもわが身に起きるかも、という危機感が、人々の間で非常に高まっています。当地区ではこの台風を教訓とし、「災害時相互支援に関する覚書」を2年度前、6クラブ間で調印しました。被災し、共に被災地に入り、学んだことを今に生かしています。ロータリーの友情と奉仕の精神は、被災地にしっかり根付いています。

私は千葉県・南房総に位置する鋸南ロータリークラブ（RC）の会員で、訪問介護事業者です。と同時に、鋸南ロータリークラブ—有志ボランティアグループ（RCV）という災害支援団体の代表、さらに、鋸南復興アクセラレーションという別団体の代表も務めています。

鋸南RCVは、鋸南町に集ったボランティアと鋸南RCが資金面、技術面、人材面で助け合い、災害弱者を助けるべく結成されたグループで、具体的には被災家屋の復旧を支援しています。

鋸南復興アクセラレーションは現在、町の社会福祉協議会内ボランティアとして、復興ボランティアセンターを支援し続けている任意団体です。どちらも、2019年9月9日に襲来した、令和元年房総半島台風を機に設立されました。

台風の被害総額は505億円、死者9人、負傷者160人を数え、局地激甚災害という認定を受けました。9人は「災害関連死」と呼ばれる数字で、直接的な台風被害の死者ではありません。自宅療養中の患者さんが、酸素ボンベの電気供給が絶えて亡くなり、93歳の女性がエアコンのない中、熱中症で亡くなっています。2年後に把握された、台風災害に遭われた方が、ショックで心臓発作を起こし亡くなった事例も、加わった数字です。被災した鋸南で、具体的にどのようなことが起き、問題として現在も残っているのか、話したいと思います。

鋸南で何が起きたのか

鋸南町の被害ですが、台風が9月9日未明に上陸してから、1時間半から2時間ぐらいの間に起きました。こんなに短時間なのに、住居の破損がひどかった。住居の70%が被災しました。人口7000人の小さな町の、ほぼ全棟です。その実態は屋根の破損でした。

あまりにもすごい暴風で、家屋の大規模破壊、そして大規模停電が起きました。台風災害のほとんどは、暴風と大雨のセットですが、鋸南町は「風災」と呼ばれる風の被害が主体で、非常に珍しい災害形式なのだそうです。

巨大台風の通過後には、何が起きると思いますか？ 私たちの町は完全に停電しました。長い所で2週間近くでした。そして台風のような低気圧の通過直後は猛暑に。9日当日は33度を超えています。冷蔵庫の中の食材は半日で腐ってしまいました。風呂にも入れません。家の中はガラスが散乱し、雨水でびしゃびしゃ。寝る場所もありません。

一番困ったのは情報が突如、入らなくなってしまうことです。一体何が起きたのか、その災害の規模がどこまで広がっていたのか、何も把握することができませんでした。発災後、半日ぐらいで

SPEECH 4 65

風災の地で生きる
希望ある未来に engagement

訪問介護あかりケアサービス代表 鋸南ロータリークラブ 堀田了誓

この人訪ねて 9 60

本名孝至 さん 津名RC(第2680地区)

記事・岩田一平 撮影・熊谷武二

につぽんふつど 13 56

駅弁と旅する関東編 久保田英男

ロータリー 俳壇 ◆夏井いつき 選 14 55

ロータリー 歌壇 ◆佐佐木幸綱 選 14 55

ロータリー 柳壇 ◆三遊亭白鳥 選 14 55

友愛の広場 16 53

奉仕の原動力 博多ロータリー讃歌 博多 平 典明

能登半島地震 被災地へ米山の愛を! 東京米山友愛 朴 貞子

米山奨学生同士の結婚 いわき小名浜 湯田伝一郎

人生100年時代の家 丸亀 横田龍男

◆うちの子

卓話の泉 19 50

口臭とは 大垣西 早野泰弘

私の一冊 19 50

『評伝 耳鼻咽喉科のパイオニア 久保猪之吉』 本宮 高田宗彦

ロータリーあるある相談室 20 49

声 7月号の感想 21 48

今月号の表紙 — 多才な障害者アートをお届け

メンバー全員の活動として、牛乳パックを原料とした再生和紙づくりを行っています。本作品は和紙を小さな木片に水貼りし、アクリル絵の具などで色とりどりの絵を描いたもの。

ひとりひとりが好きな色を用いて、模様やカタチを自由に描きました。小さな金具もつけてあるので、壁かけインテリアにもなるのですが、今回は白いお皿の上にたくさん集めて置いてみました。

支援スタッフ代筆

まあるい広場には活気あふれる作業ルームとは別に、広くて落ち着いたギャラリー&カフェがあります。そこに入ると、所狭しと作品が置かれ、壁面の棚の上にある本作品が目飛び込みました。よく見ると、いろんなカタチの木片に和紙を貼り、自由に描かれたものを、木葉のカタチの白いお皿の上に並べてあります。まるで、お月見のお供えのようにも見たので、無題だったこの作品に「秋の夜長」とタイトルをつけました。

アートディレクション・五十嵐仁之



秋の夜長

イラストレーション

まあるい広場／チームひろば
千葉県千葉市270×730 mm (皿の大きさ)
再生和紙、アクリル、木片

一般社団法人 ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階
Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5958(編集部) / 03-3436-5956 (管理部)
hensyu@rotary-no-tomo.jp (編集部 / 本誌の内容のお問い合わせ)
keiri@rotary-no-tomo.jp (管理部 / 購読・注文)
https://rotary-no-tomo.jp



◆横組みの目次は、反対側の表紙を開いたページにあります。
◆本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。



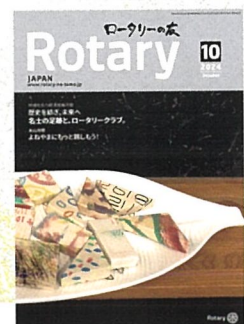
学びと ひらめき。

読んで学び、書いて学ぶ

昨年度、友地区代表委員で、毎月『友』を
読んで感想を提出してきました。書かなくっ
ちゃって思うと、ちょっと本気で読むことに
なる。そうすると見過ごしがちな記事にも
目が留まる。新たな発見があるものですよ。
次に自分の感じたことを文章にする。こう
いうのって、なかなか普段なくって、ヘタし
たら高校生以来じゃないかってぐらい(笑)。
ものすごく勉強になって学びを得ましたね。
大したことを書いてないけども、簡潔に書か
ないと相手にも伝わらないしね。



京都ロータリークラブ
山下尚治さん



ロータリーの友

Rotary

JAPAN

www.rotary-no-tomo.jp

10

2024

October

SPEECH

堀田了誓さん

風災の地で生きる

希望ある未来にengagement

この人 訪ねて

本名孝至さん

津名ロータリークラブ

